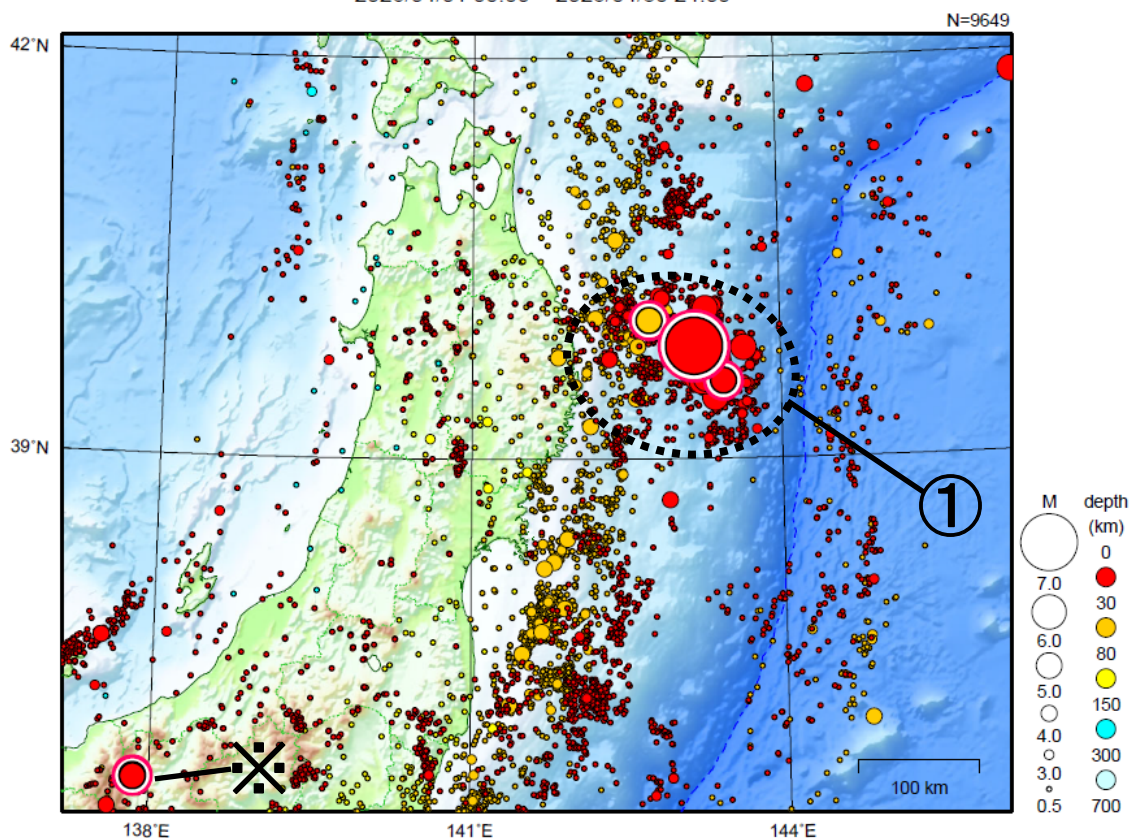


# 東北地方

2026/04/01 00:00 ~ 2026/04/30 24:00



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030 及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- ① 4月20日16時52分に三陸沖でM7.7の地震（最大震度5強）が発生した。この地震の震央付近では同日21時56分にM5.6の地震（最大震度3）、同月22日にM5.3の地震（最大震度3）、27日にM5.1の地震（最大震度3）が発生するなど、20日から30日までに震度1以上を観測する地震が38回（震度5強：1回、震度3：3回、震度2：7回、震度1：27回）発生した。

※で示した地震については関東・中部地方の資料を参照。

[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省

# 2026年4月20日 三陸沖の地震

## (1) 概要

2026年4月20日16時52分に三陸沖の深さ19kmでM7.7の地震が発生し、青森県階上町で震度5強を観測したほか、北海道から近畿地方にかけて震度5弱～1を観測した。また、宮城県北部及び秋田県内陸南部で長周期地震動階級3を観測したほか、北海道から中部地方にかけて長周期地震動階級2～1を観測した。この地震により、岩手県の久慈港<sup>(注1)</sup>で79cm<sup>(注2)</sup>、北海道の浦河<sup>(注1)</sup>で39cm<sup>(注2)</sup>など、北海道及び東北地方の太平洋沿岸で津波を観測した。

気象庁はこの地震に対して、最初の地震波の検知から19.8秒後の16時53分23.3秒に緊急地震速報（警報）を発表した。また、同日16時55分に北海道太平洋沿岸中部及び岩手県に津波警報を発表し、同日17時08分に青森県太平洋沿岸に発表していた津波注意報を津波警報に切り替えた。その後、同日20時15分に津波警報を津波注意報に切り替え、同日23時45分に津波注意報を全て解除した。

気象庁は、この地震について震源位置や規模を精査した結果、国の基本計画等に定められている、後発地震への注意を促す情報を発表する基準を満たしており、北海道の根室沖から東北地方の三陸沖にかけての巨大地震の想定震源域で大規模地震の発生可能性が平常時に比べて相対的に高まっていると考えられたことから、20日19時30分に北海道・三陸沖後発地震注意情報を発表した。

この地震は、発震機構（CMT解）が西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

今回の地震の震央周辺では、4月20日以降4月30日までに震度1以上を観測した地震が38回（震度5強：1回、震度3：3回、震度2：7回、震度1：27回）発生するなど、地震活動は継続している。

これらの地震により、負傷者10人の被害が生じた（2026年4月28日17時00分現在、総務省消防庁による）。

これらの地震による被害状況を表1-1に、4月20日以降の最大震度別地震回数表を表1-2に、震度1以上の日別地震回数グラフを図1-1に、気象庁及び各地の気象台が発表した主な情報及び報道発表を表1-3～5に示す。

(注1) 国土交通省港湾局の観測施設。

(注2) 観測値は後日の精査により変更される場合がある。

表1-1 三陸沖の地震による被害状況  
(2026年4月28日17時00分現在、総務省消防庁による)

都道府県名	人的被害				住家被害		
	死者	行方不明者	負傷者		全壊	半壊	一部破損
			重傷	軽傷			
人	人	人	人	棟	棟	棟	
北海道			1	1			
青森県				4			
岩手県			1	3			
合計			2	8			

## 4月20日三陸沖の地震の最大震度別地震回数表

表1-2 震度1以上の日別最大震度別地震回数表(2026年4月20日~5月12日)

(注)掲載している値は速報のもので、その後の調査で変更する場合があります。

日別	最大震度別回数										震度1以上を 観測した回数		備考
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	回数	累計		
4/20	10	3	1	0	0	0	1	0	0	0	15	15	
4/21	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	17	
4/22	4	1	1	0	0	0	0	0	0	0	6	23	
4/23	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5	28	
4/24	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	30	
4/25	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	31	
4/26	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	33	
4/27	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	35	
4/28	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	37	
4/29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	37	
4/30	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	38	
5/1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	39	
5/2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	40	
5/3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40	
5/4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	41	
5/5	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	43	
5/6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	43	
5/7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	43	
5/8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	43	
5/9	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	45	
5/10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	45	
5/11	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	46	
5/12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	46	
総計(4月20日~)	34	7	4	0	0	1	0	0	0	0		46	

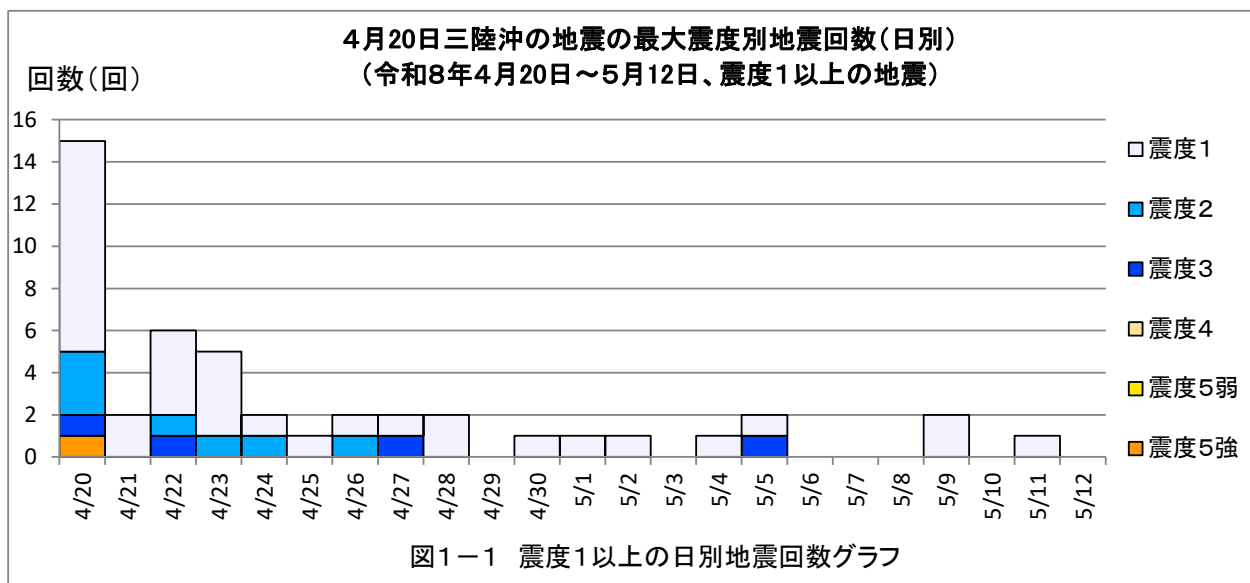
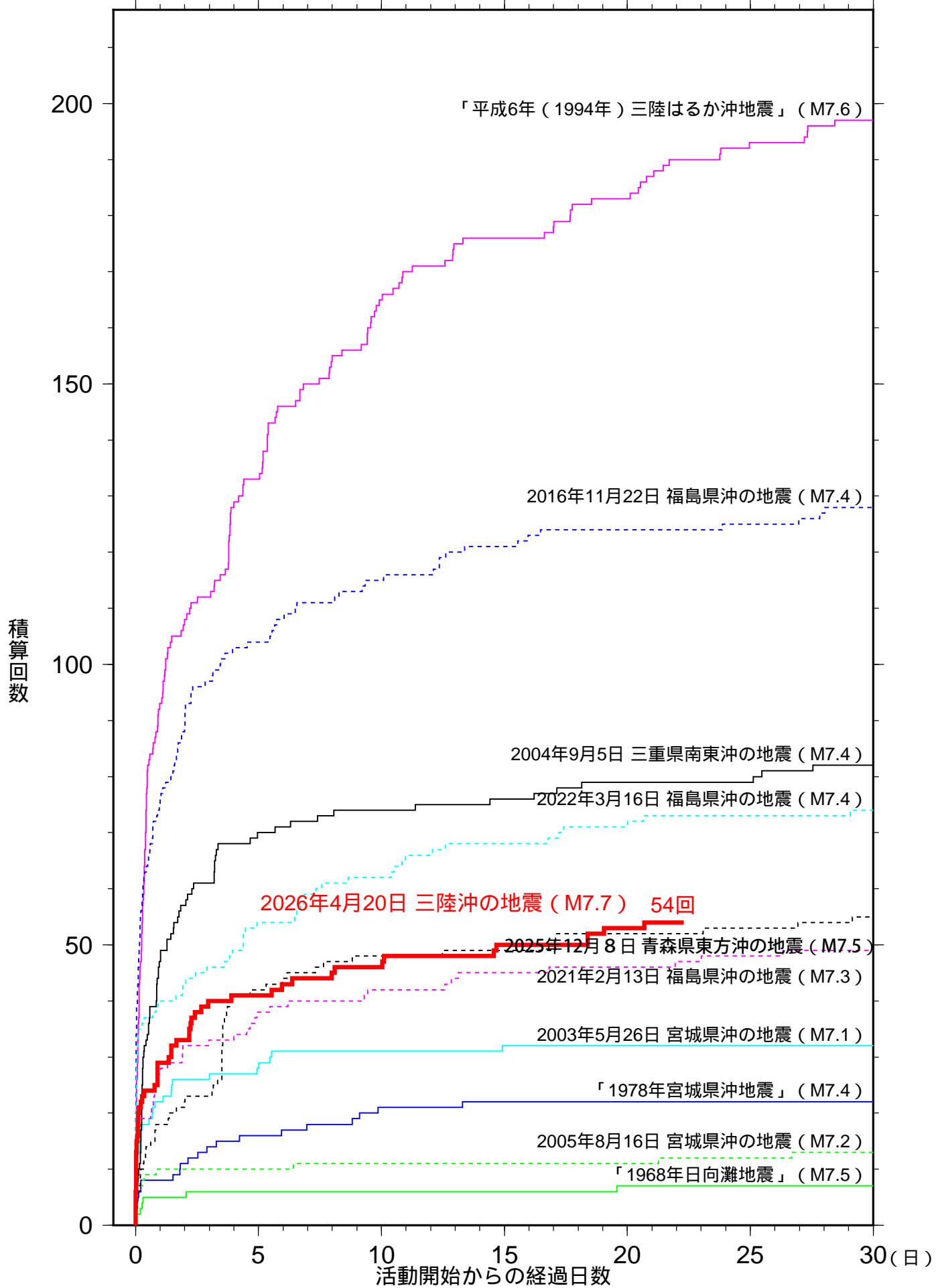


図1-1 震度1以上の日別地震回数グラフ

(回)

2026年05月13日00時00分現在



この資料には速報値が含まれており、後日の調査で変更することがある。  
今回の地震のマグニチュードについては、これまでの最大を示している。

図1-2 主な地震活動の地震回数比較 (マグニチュード4.0以上) 気象庁作成

表 1-3 気象庁が発表した主な情報及び報道発表（2026年 4月20日～ 4月27日）（続く）

月 日	時刻	情報発表、報道発表等の状況	備考（主な内容等）
4月20日	16時52分	地震発生	三陸沖
	16時53分	緊急地震速報（警報）	
	16時54分	震度速報	青森県三八上北で震度5強、以降、逐次更新
	16時55分	津波警報発表	北海道太平洋沿岸中部及び岩手県に津波警報を発表
	16時56分	津波情報（各地の満潮時刻・津波到達予想時刻に関する情報）	
	16時58分	震源・震度情報	M7.4、青森県階上町で最大震度5強
	17時03分	長周期地震動に関する観測情報	宮城県北部、秋田県内陸南部で長周期地震動階級3
	17時08分	津波警報発表	青森県太平洋沿岸に津波警報を発表、M7.5
		津波情報（各地の満潮時刻・津波到達予想時刻に関する情報）	
	17時16分	津波情報（沖合の津波観測に関する情報）	20日17時15分現在の値
	17時18分	津波情報（沖合の津波観測に関する情報）	20日17時17分現在の値
	17時24分	震源・震度情報	M7.5
	17時25分	津波情報（津波観測に関する情報）	20日17時24分現在の値
	17時29分	津波情報（沖合の津波観測に関する情報）	20日17時28分現在の値
	17時33分	津波情報（津波観測に関する情報）	20日17時32分現在の値
	17時36分	津波情報（津波観測に関する情報）	20日17時34分現在の値
	17時37分	津波情報（津波観測に関する情報）	20日17時37分現在の値
	17時40分	津波情報（沖合の津波観測に関する情報）	20日17時39分現在の値
	17時42分	津波情報（津波観測に関する情報）	20日17時41分現在の値
	17時44分	津波情報（沖合の津波観測に関する情報）	20日17時43分現在の値
	17時46分	津波情報（沖合の津波観測に関する情報）	20日17時45分現在の値
	17時47分	津波情報（津波観測に関する情報）	20日17時46分現在の値
	17時50分	津波情報（津波観測に関する情報）	20日17時49分現在の値
	17時53分	津波情報（津波観測に関する情報）	20日17時52分現在の値
	17時55分	津波情報（津波観測に関する情報）	20日17時54分現在の値
	17時57分	津波情報（津波観測に関する情報）	20日17時56分現在の値
	17時58分	津波情報（津波観測に関する情報）	20日17時57分現在の値
	18時00分	報道発表	令和8年4月20日16時53分頃の三陸沖の地震について
	18時13分	津波情報（津波観測に関する情報）	20日18時12分現在の値
	18時23分	津波情報（津波観測に関する情報）	20日18時21分現在の値
	18時32分	津波情報（津波観測に関する情報）	20日18時31分現在の値
	18時42分	津波情報（津波観測に関する情報）	20日18時41分現在の値
	18時48分	津波情報（津波観測に関する情報）	20日18時44分現在の値
	18時51分	津波情報（津波観測に関する情報）	20日18時49分現在の値
	19時14分	津波情報（津波観測に関する情報）	20日19時12分現在の値
	19時22分	津波情報（津波観測に関する情報）	20日19時20分現在の値
	19時30分	北海道・三陸沖後発地震注意情報	Mw7.4
		顕著な地震の震源要素更新のお知らせ	暫定震源、M7.7
	19時34分	津波情報（津波観測に関する情報）	20日19時29分現在の値
	19時35分	記者会見	北海道・三陸沖後発地震注意情報に関する留意事項、発表に伴いとるべき防災対応
	19時48分	津波情報（津波観測に関する情報）	20日19時43分現在の値
	19時54分	津波情報（津波観測に関する情報）	20日19時53分現在の値
	20時15分	津波注意報発表	津波注意報に切り替え
津波情報（各地の満潮時刻・津波到達予想時刻に関する情報）			
20時36分	津波情報（津波観測に関する情報）	20日20時33分現在の値	
21時17分	津波情報（津波観測に関する情報）	20日21時14分現在の値	
21時31分	津波情報（津波観測に関する情報）	20日21時29分現在の値	
22時06分	津波情報（津波観測に関する情報）	20日22時05分現在の値	
22時36分	津波情報（津波観測に関する情報）	20日22時33分現在の値	
23時45分	津波予報発表	津波注意報を解除	
23時52分	津波情報（津波観測に関する情報）	20日22時33分現在の値	

表 1 - 3 気象庁が発表した主な情報及び報道発表（2026年 4 月 20 日～ 4 月 27 日）（続き）

4 月 21 日	16 時 00 分	報道発表	令和 8 年 4 月 20 日 16 時 53 分頃の三陸沖の地震について （第 2 報）
4 月 22 日	16 時 00 分	報道発表	令和 8 年 4 月 20 日 16 時 53 分頃の三陸沖の地震について （第 3 報）
4 月 23 日	16 時 00 分	報道発表	令和 8 年 4 月 20 日 16 時 53 分頃の三陸沖の地震について （第 4 報）
4 月 24 日	16 時 00 分	報道発表	令和 8 年 4 月 20 日 16 時 53 分頃の三陸沖の地震について （第 5 報）
4 月 25 日	16 時 00 分	報道発表	令和 8 年 4 月 20 日 16 時 53 分頃の三陸沖の地震について （第 6 報）
4 月 26 日	16 時 00 分	報道発表	令和 8 年 4 月 20 日 16 時 53 分頃の三陸沖の地震について （第 7 報）
4 月 27 日	16 時 00 分	報道発表	北海道・三陸沖後発地震注意情報に伴う特別な注意の呼び掛け期間の終了について ～令和 8 年 4 月 20 日 16 時 53 分頃の三陸沖の地震（第 8 報）について～

表 1-4 札幌管区气象台及び札幌管内の地方气象台が発表した主な報道発表及び地震解説資料  
(2026年4月20日～4月27日)

月 日	時刻	情報発表、報道発表等の状況 [発表官署]	備考 (主な内容等)
4月20日	18時30分	報道発表資料 (地震解説資料第1号)「札幌」	令和8年4月20日16時53分頃の三陸沖の地震について
	18時30分	報道発表資料 (地震解説資料第1号)「釧路」	令和8年4月20日16時53分頃の三陸沖の地震について
	18時30分	報道発表資料 (地震解説資料第1号)「室蘭」	令和8年4月20日16時53分頃の三陸沖の地震について
	19時35分	報道発表資料 (地震解説資料第1号)「函館」	令和8年4月20日16時53分頃の三陸沖の地震について
4月21日	14時00分	報道発表資料 (地震解説資料第2号)「札幌」	令和8年4月20日16時53分頃の三陸沖の地震について
	14時00分	報道発表資料 (地震解説資料第1号)「稚内」	令和8年4月20日16時53分頃の三陸沖の地震について
	14時00分	報道発表資料 (地震解説資料第2号)「釧路」	令和8年4月20日16時53分頃の三陸沖の地震について
	14時00分	報道発表資料 (地震解説資料第2号)「室蘭」	令和8年4月20日16時53分頃の三陸沖の地震について
	14時30分	報道発表資料 (地震解説資料第1号)「網走」	令和8年4月20日16時53分頃の三陸沖の地震について
	16時00分	報道発表資料 (地震解説資料第2号)「函館」	令和8年4月20日16時53分頃の三陸沖の地震について
4月27日	18時00分	報道発表資料 (地震解説資料第3号)「札幌」	令和8年4月20日16時53分頃の三陸沖の地震について～「北海道・三陸沖後発地震注意情報」発表に伴う特別な注意の呼びかけ期間の終了について～
	18時00分	報道発表資料 (地震解説資料第2号)「稚内」	令和8年4月20日16時53分頃の三陸沖の地震について～「北海道・三陸沖後発地震注意情報」発表に伴う特別な注意の呼びかけ期間の終了について～
	18時00分	報道発表資料 (地震解説資料第3号)「室蘭」	令和8年4月20日16時53分頃の三陸沖の地震について～「北海道・三陸沖後発地震注意情報」発表に伴う特別な注意の呼びかけ期間の終了について～
	18時00分	報道発表資料 (地震解説資料第3号)「函館」	令和8年4月20日16時53分頃の三陸沖の地震について～「北海道・三陸沖後発地震注意情報」発表に伴う特別な注意の呼びかけ期間の終了について～
	18時10分	報道発表資料 (地震解説資料第2号)「網走」	令和8年4月20日16時53分頃の三陸沖の地震について～「北海道・三陸沖後発地震注意情報」発表に伴う特別な注意の呼びかけ期間の終了について～

表 1-5 仙台管区气象台及び仙台管内の地方气象台が発表した主な報道発表及び地震解説資料  
(2026年 4月20日～27日)

月 日	時刻	情報発表、報道発表等の状況 [発表官署]	備考 (主な内容等)
4月20日	18時30分	報道発表 [盛岡]	令和8年4月20日16時53分頃の三陸沖の地震および津波について
	20時15分	報道発表 [仙台]	令和8年4月20日19時30分に発表した北海道・三陸沖後発地震注意情報について
4月21日		報道発表 [仙台、青森]	気象庁 機動調査班 (JMA-MOT) の派遣について ～三陸沖を震源とする地震に伴う現地調査～
	10時30分	地震解説資料 [仙台]	令和8年4月20日16時53分頃の三陸沖の地震について 「21日09時現在の震度1以上を観測した地震の回数や 20日23時52分現在の津波の観測状況など」
		報道発表 [仙台、青森]	令和8年4月20日16時53分頃の三陸沖の地震における 地震被害の現地調査について (報告) 「青森県内で5強を観測した震度観測点の観測環境や震 度観測点周辺の被害状況を把握するため現地調査を実施 した」
4月27日	17時15分	地震解説資料 [仙台]	令和8年4月20日16時53分頃の三陸沖の地震について ～「北海道・三陸沖後発地震注意情報」に伴う特別な注意 の呼びかけ期間終了～

(2) 地震活動

ア. 地震の発生場所の詳細及び地震の発生状況

4月20日16時52分に三陸沖の深さ19kmでM7.7(最大震度5強)の地震が発生した。この地震は、発震機構(CMT解)が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

1994年10月以降の活動を見ると、領域aではM5.0以上の地震が時々発生しており、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」(以下、「東北地方太平洋沖地震」)以降、地震活動が活発で、2025年11月4日からまとまった地震活動が見られるようになり、2025年11月9日にM6.9の地震(最大震度4)、2026年3月26日にはM6.7の地震(最大震度4)が発生した。なお、今回の地震の活動域の北側では「平成6年(1994年)三陸はるか沖地震」(M7.6、最大震度6)や、2025年12月8日に青森県東方沖でM7.5(最大震度6強)の地震が発生するなど、規模の大きい地震が発生している。

今回の一連の地震活動は、同規模の地震が続けて発生しやすい領域(続発領域)内で発生している。続発領域内で大きな地震が発生した場合は、規模の近い地震や、より規模の大きな地震が続発しやすい傾向がある※。過去の事例は、(2)エ「過去の地震活動」を参照。

※地震調査研究推進本部地震調査委員会、大地震後の地震活動の見通しに関する情報のあり方(報告書)、2016。

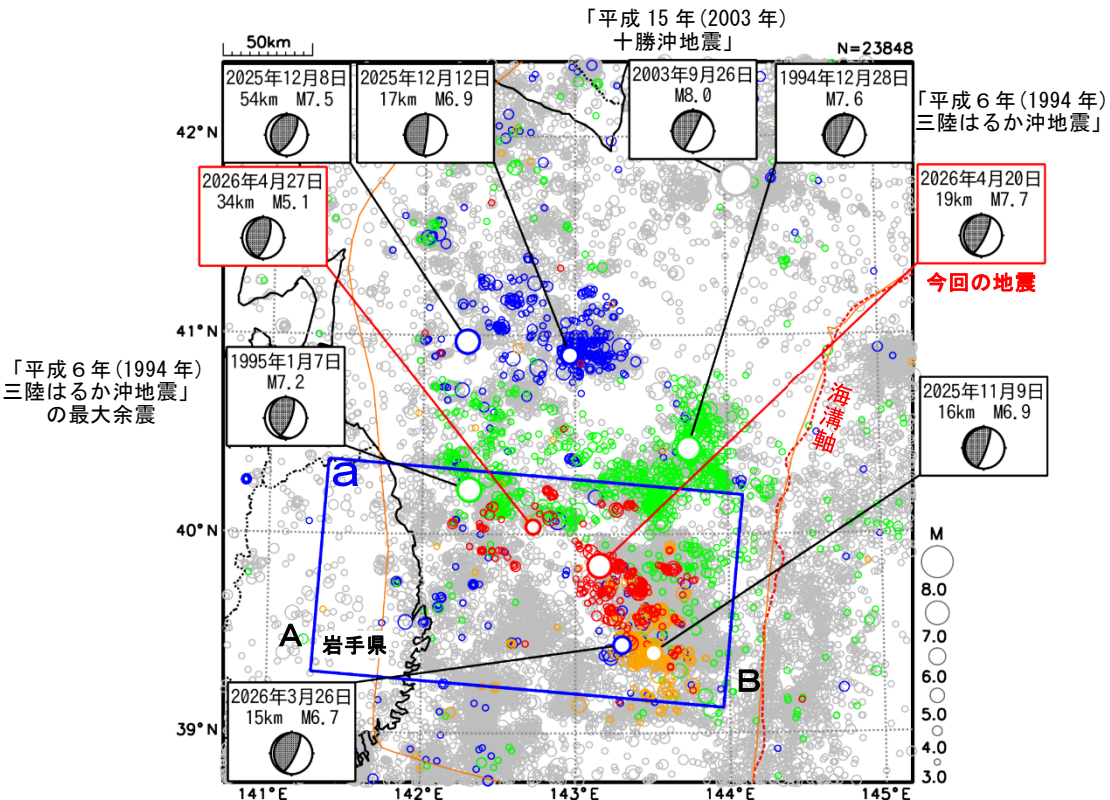


図2-1 震央分布図(1994年10月1日~2026年4月30日、深さ0~100km、M≥3.0)

- 1994年10月1日~1995年1月31日
- 2025年11月1日~2025年11月30日
- 2025年12月1日~2026年3月31日
- 2026年4月1日~
- 上記以外の期間

図中の発震機構はCMT解を示す。また、図内の橙色の線で囲まれた領域は千島海溝・日本海溝沿いの巨大地震の想定震源域を示す。

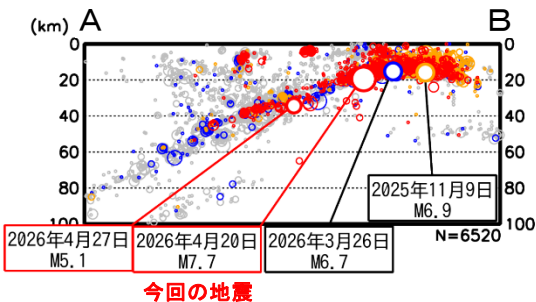


図2-2 領域aの断面図(A-B投影)  
(2020年9月1日~2026年4月30日、M≥2.0)

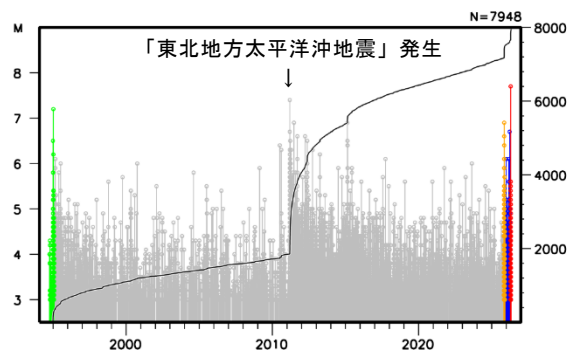


図2-3 領域a内のM-T図及び回数積算図  
(深さ0~60km)

今回の地震の震央付近（領域b）では、2025年11月4日からまとまった地震活動が見られるようになり、2025年11月9日にはM6.9（最大震度4）の地震が発生した。その後も活動は活発で、2025年12月31日にM6.1の地震（最大震度4）、2026年3月8日にM6.1（最大震度3）、3月26日にM6.7（最大震度4）の地震が発生するなど、M6.0以上の地震が度々発生していた。

今回の地震活動を見ると、北西-南東方向におよそ150kmの範囲で広がっており、M4以上の地震が4月20日から30日までに49回発生するなど、引き続き活動は活発である。また、今回の地震の活動域は、2025年11月9日のM6.9の地震の活動域の北西側に位置している。

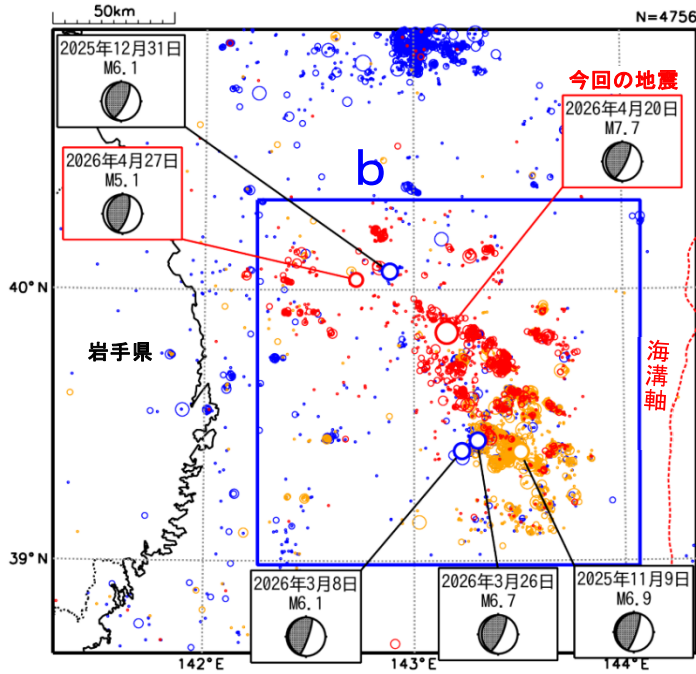


図2-4 震央分布図及び時空間分布図（領域b内、東西投影）  
 (2025年11月1日～2026年4月30日、深さ0～100km、 $M \geq 2.0$ )  
 ○ 2025年11月1日～2025年11月30日  
 ● 2025年12月1日～2026年4月19日  
 ● 2026年4月20日～  
 図中の発震機構はCMT解を示す。

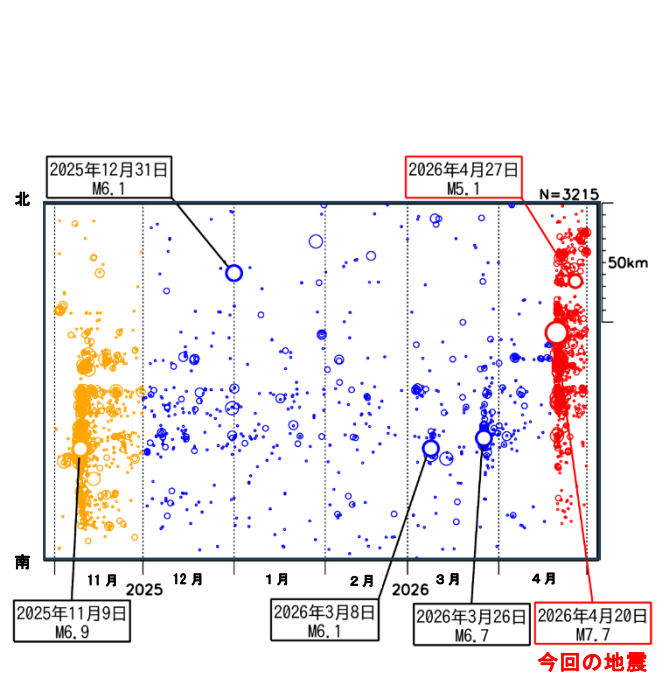


図2-5 領域b内の時空間分布図（南北投影）

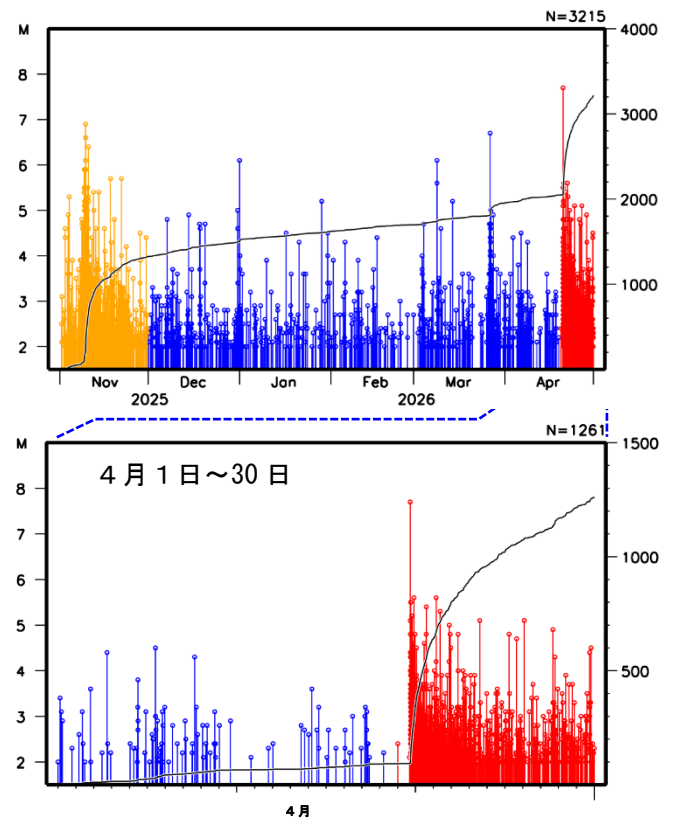


図2-6 領域b内のM-T図及び回数積算図

## イ. 発震機構

1997年10月以降に発生した地震の発震機構（CMT解）分布及び発震機構の圧力軸の分布を図2-10に示す。また、図2-10の領域c内の地震の発震機構の型の分布及び圧力軸の向きを分布を図2-11に示す。

今回の地震の震央付近では、逆断層型の地震が多く見られ、発震機構の圧力軸の向きは西北西-東南東方向の地震が多い。今回の地震（M7.7）は、発震機構が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型であり、これまでの地震の傾向と調和的である。

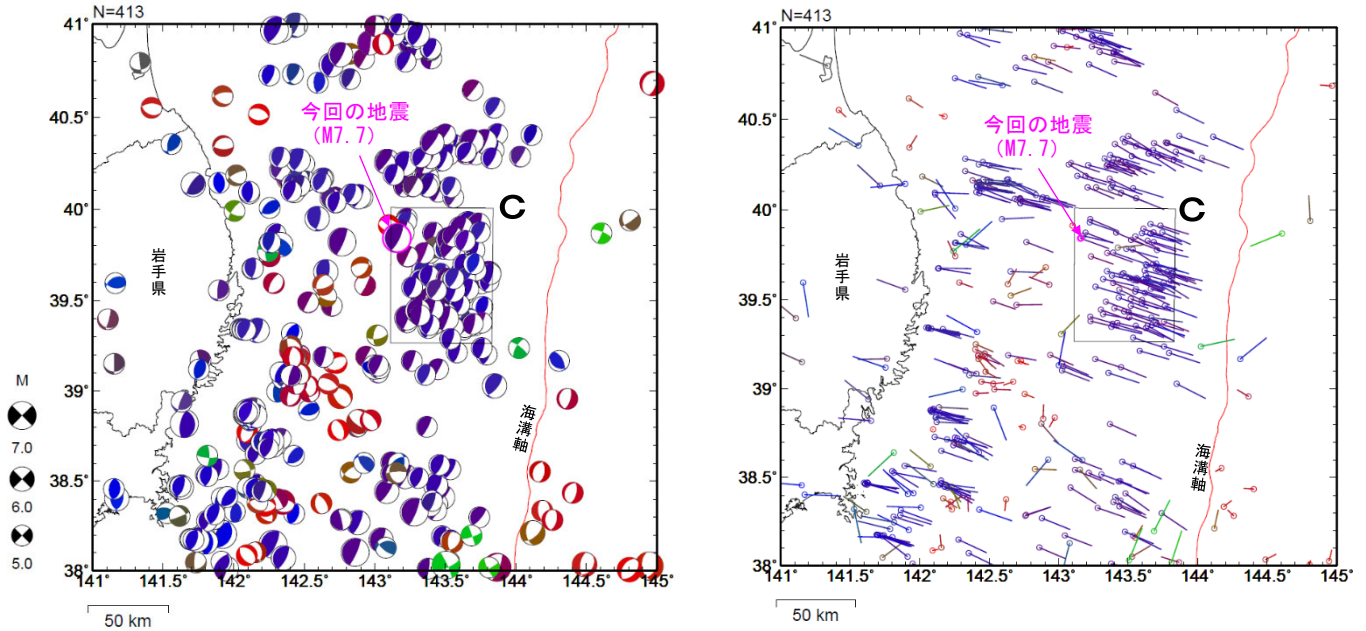


図2-7 発震機構分布図（左）、発震機構の圧力軸の分布（右）

期間：1997年10月1日～2026年4月30日、深さ：0～100km、 $M \geq 5.0$ 、発震機構はCMT解による（震源の位置に表示）。逆断層型の地震を青色、正断層型の地震を赤色、横ずれ断層型の地震を緑色で表示（Frohlich (2001)による分類）。

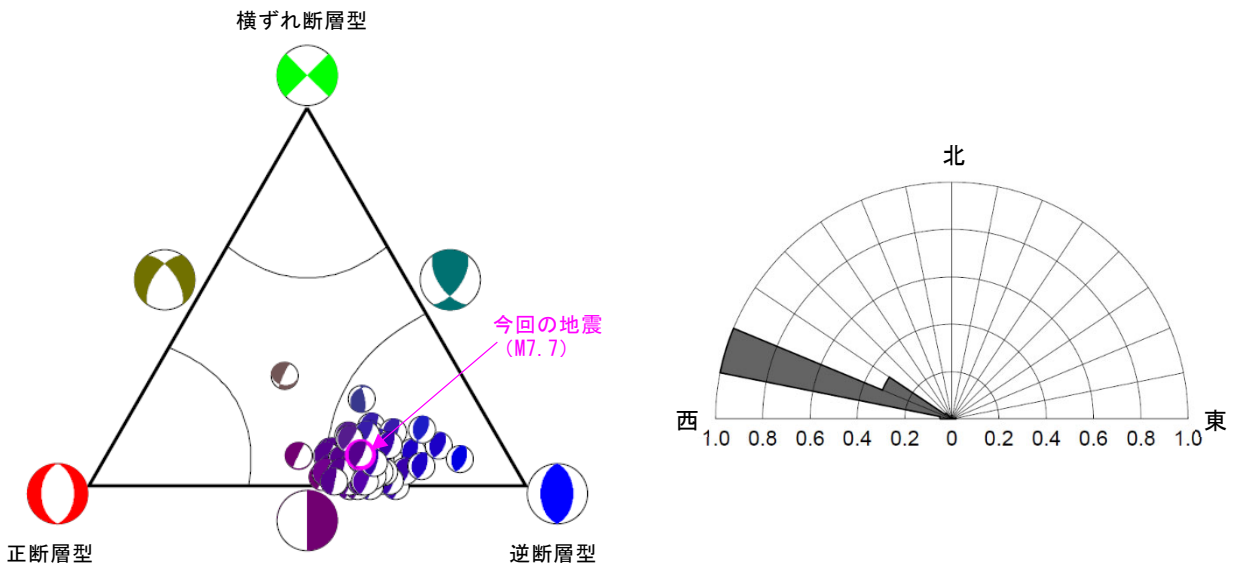


図2-8 図2-7の領域c内の地震の発震機構の型の分布（左）及び発震機構の圧力軸の方位分布（右）  
発震機構の型の分布は、逆断層型の地震を青色、正断層型の地震を赤色、横ずれ断層型の地震を緑色で表示（Frohlich (2001)による分類）。

## ウ. 遠地実体波を用いた震源過程解析

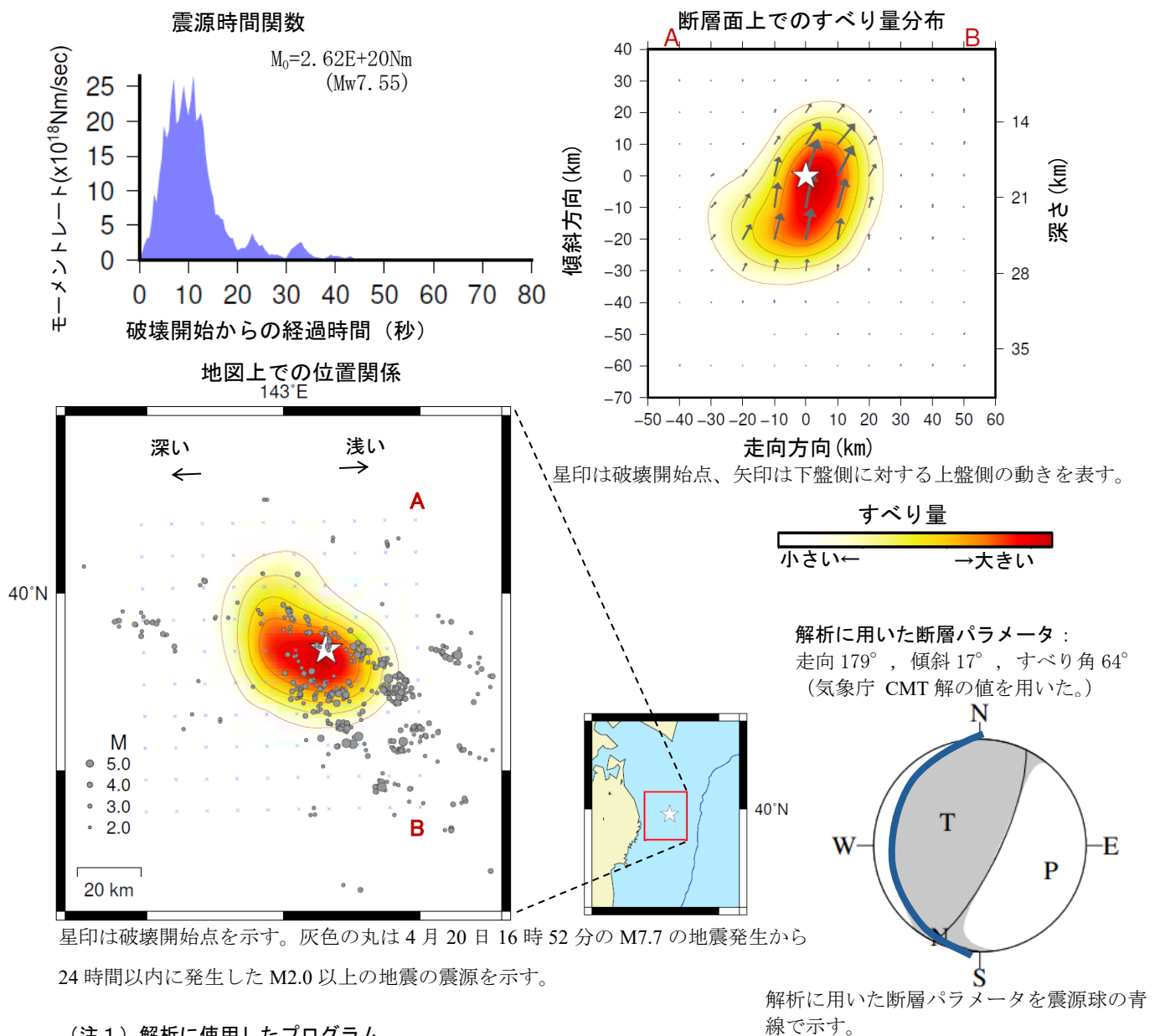
2026年4月20日16時52分(日本時間)に三陸沖で発生した地震について、EarthScope Consortiumのデータ管理センター(DMC)より広帯域地震波形記録を取得し、遠地実体波を用いた震源過程解析(注1)を行った。

破壊開始点は、気象庁による震源の位置(39° 50.5' N, 143° 9.4' E, 深さ19km)とした。断層面は、気象庁CMT解の2枚の節面のうち、南北方向の節面(走向179°、傾斜17°、すべり角64°)を仮定して解析した。最大破壊伝播速度は2.0km/sとした。理論波形の計算にはCRUST2.0(Bassin et al., 2000)およびIASP91(Kennett and Engdahl, 1991)の地下構造モデルを用いた。

主な結果は以下のとおり(この結果は暫定であり、今後更新することがある)。

- ・主な破壊領域は走向方向に約50km、傾斜方向に約50kmであった。
- ・主なすべりは破壊開始点周辺に広がり、最大すべり量は3.9mであった(周辺の構造から剛性率を49GPaとして計算)。
- ・主な破壊継続時間は約20秒であった。
- ・モーメントマグニチュード(Mw)は7.6であった。

結果の見方は、[https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/world/about\\_srcproc.html](https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/world/about_srcproc.html)を参照。



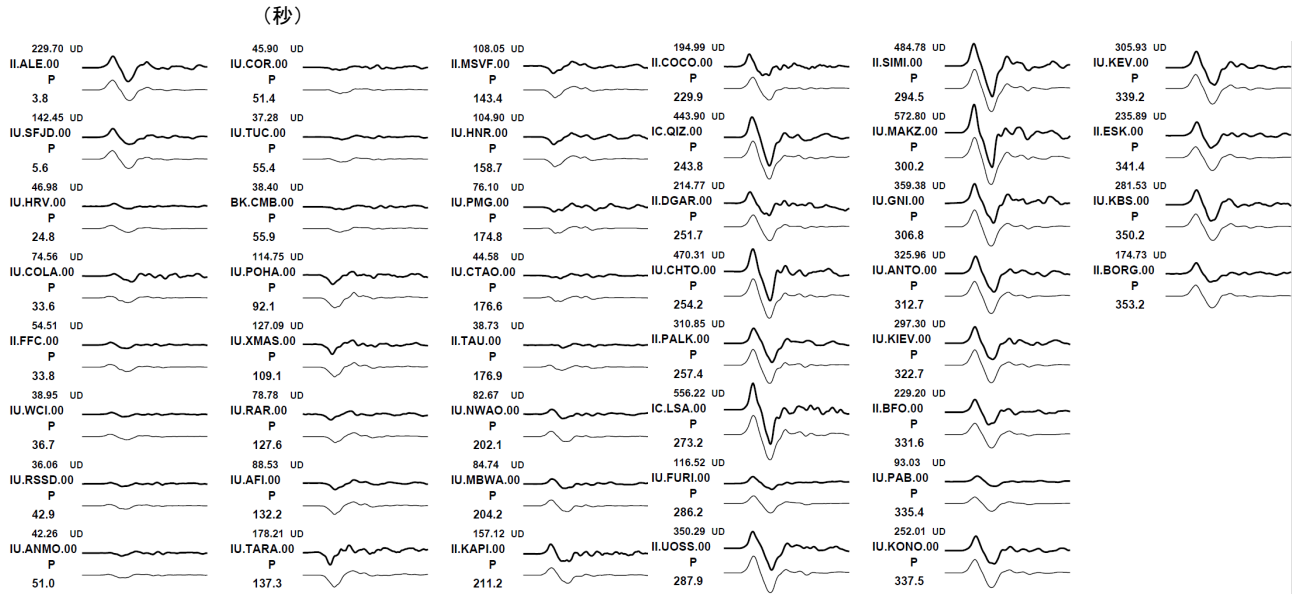
(注1) 解析に使用したプログラム

M. Kikuchi and H. Kanamori, Note on Teleseismic Body-Wave Inversion Program,  
<http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/ETAL/KIKUCHI/>

作成日: 2026/5/13

気象庁作成

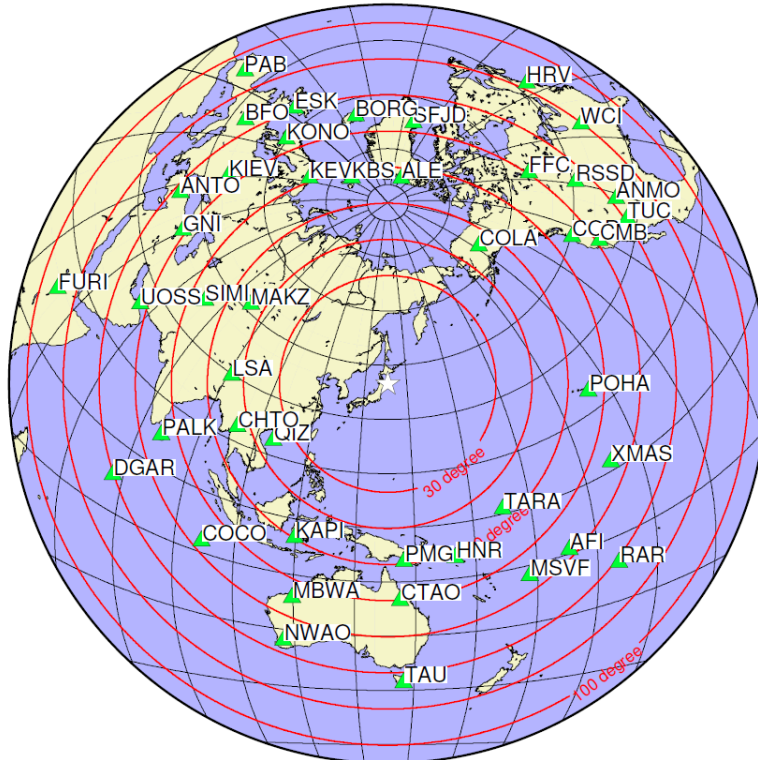
観測波形（上：0.01Hz-0.5Hz）と理論波形（下）の比較



振幅の単位は  $\mu\text{m}$

残差 0.1710

観測点分布



震央距離  $30^\circ \sim 100^\circ$  ※1 の 44 観測点※2 (P 波 : 44, SH 波 : 0) を使用。  
 ※1 : 近すぎると理論的に扱いつらくなる波の計算があり、逆に遠すぎると、液体である外核を通るため、直達波が到達しない。そのため、評価しやすい距離の波形記録のみを使用。  
 ※2 : EarthScope Consortium より取得した広帯域地震波形記録を使用。

参考文献

- Bassin, C., Laske, G. and Masters, G., 2000, The Current Limits of Resolution for Surface Wave Tomography in North America, EOS Trans AGU, 81, F897.
- Kennett, B. L. N. and E. R. Engdahl, 1991, Traveltimes for global earthquake location and phase identification, Geophys. J. Int., 105, 429-465.

作成日 : 2026/5/13

エ. 過去の地震活動

(ア) 1885年以降の過去地震の発生概要

1885年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域d）では、M6.0以上の地震が時々発生している。1896年6月15日にはM8.2の地震（明治三陸地震）が発生し、死者21,959人などの甚大な被害となった（「日本被害地震総覧」による）。また、今回の地震の周辺は同規模の地震が続けて発生しやすい「続発領域」と呼ばれる領域<sup>※1</sup>であり、過去事例として1989年や1992年に今回の地震の活動域とほぼ同じ領域で同規模の地震が続けて発生した。

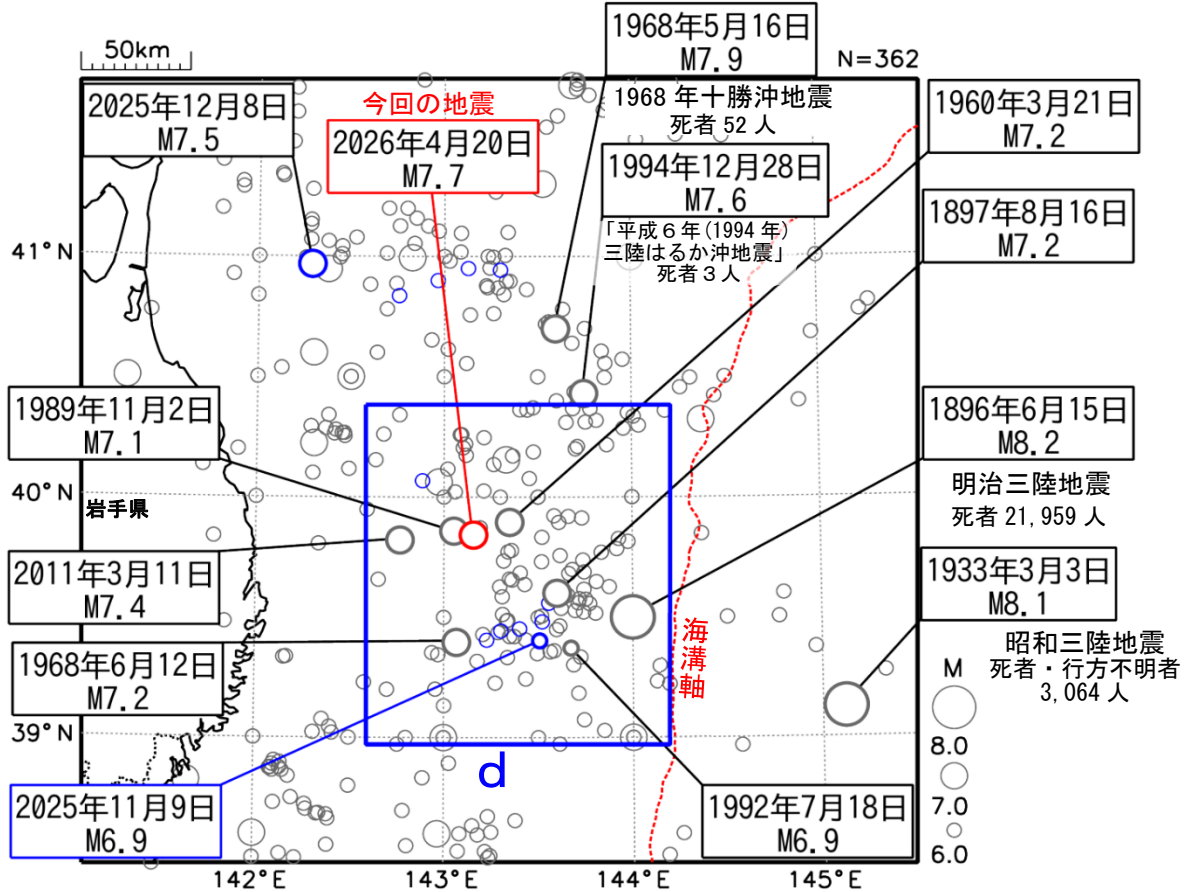


図2-9 震央分布図 (1885年1月1日～2026年4月30日、深さ0～100km、M≥6.0)  
○2025年11月1日～2026年3月31日 ●2026年4月1日～4月30日  
震源要素は、1885～1918年は茅野・宇津 (2001)、宇津 (1982、1985) による<sup>※2</sup>。  
被害は「日本被害地震総覧」による。

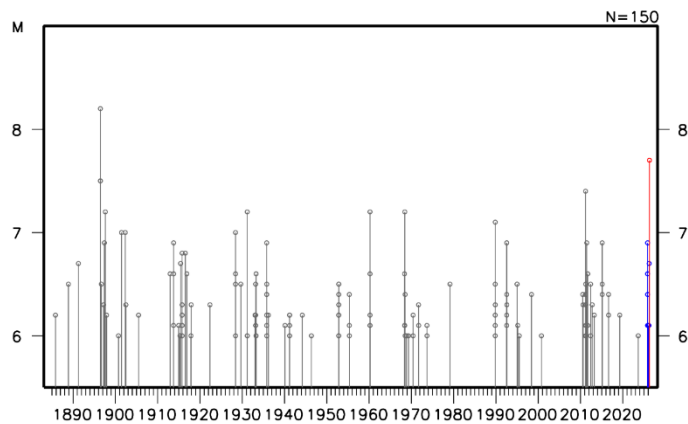


図2-10 領域d内のM-T図

※1 地震調査研究推進本部地震調査委員会, 大地震後の地震活動の見通しに関する情報のあり方, 2016.  
 ※2 宇津徳治, 日本付近のM6.0以上の地震及び被害地震の表: 1885年～1980年, 震研彙報, 56, 401-463, 1982.  
 宇津徳治, 日本付近のM6.0以上の地震及び被害地震の表: 1885年～1980年 (訂正と追加), 震研彙報, 60, 639-642, 1985.  
 茅野一郎・宇津徳治, 日本の主な地震の表, 「地震の事典」第2版, 朝倉書店, 2001, 657pp.

(イ) 1989年の地震活動

1989年11月2日に三陸沖でM7.1の地震が発生し、青森県と岩手県で震度4を観測した。また、この地震により津波が発生し、岩手県の宮古で53cm（平常潮位からの最大の高さ）の津波を観測するなど、北海道太平洋沿岸から茨城県にかけて津波を観測した。

また、この地震の震央付近（領域e）では、10月27日から地震活動が活発になり、27日にはM6.2、29日にはM6.0、M6.5の地震が発生するなど、同程度の規模の地震が続発し、その後も活発な地震活動はしばらく続いた。29日のM6.5の地震では津波も発生し、岩手県の宮古で7cm（平常潮位からの最大の高さ）などの津波を観測した。

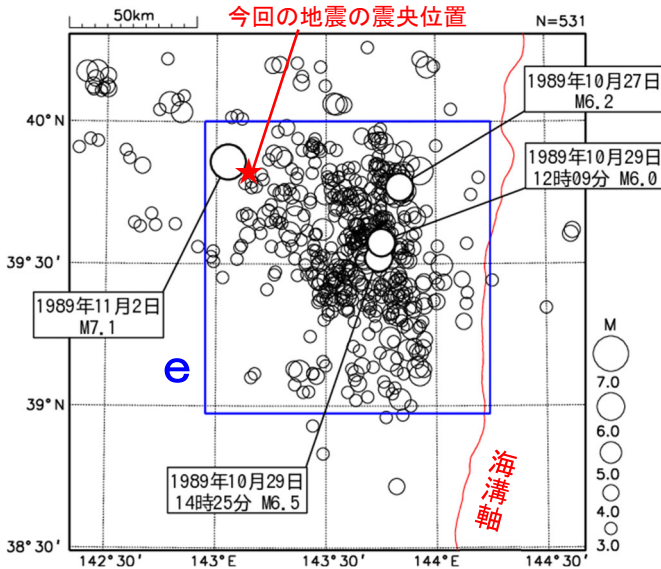


図2-11 震央分布図 (1989年10月15日～1989年1月15日、深さ0～90km、M≥3.0)

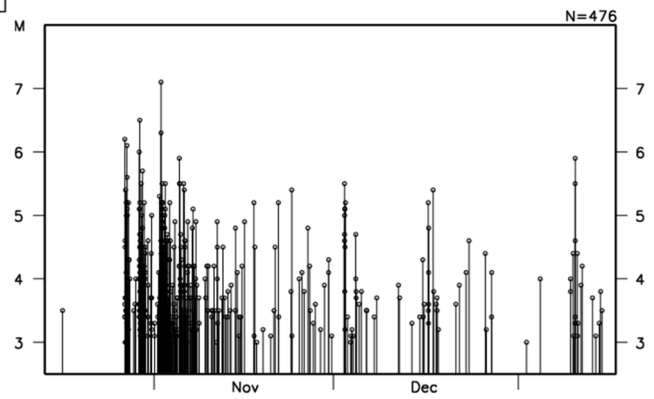


図2-12 領域e内のM-T図

(ウ) 1992年の地震活動

1992年7月18日17時36分に三陸沖でM6.9の地震が発生し、その3分後の17時39分にもM6.9の地震が発生した。これらの地震でいずれも東北地方で震度3を観測した。また、これらの地震により、津波の高さが岩手県の大船渡で22cm（平常潮位からの最大の高さ）など、東北地方太平洋沿岸で津波を観測した。

また、これらの地震の震央付近（領域f）では、7月16日から地震活動が活発になり、16日にはM6.1の地震が発生し、18日には17時19分にM5.8の地震が発生した後、上述した2回のM6.9の地震、19時20分にはM6.4の地震が発生するなど、同程度の規模の地震が続発した。その後も活発な地震活動はしばらく続いた。

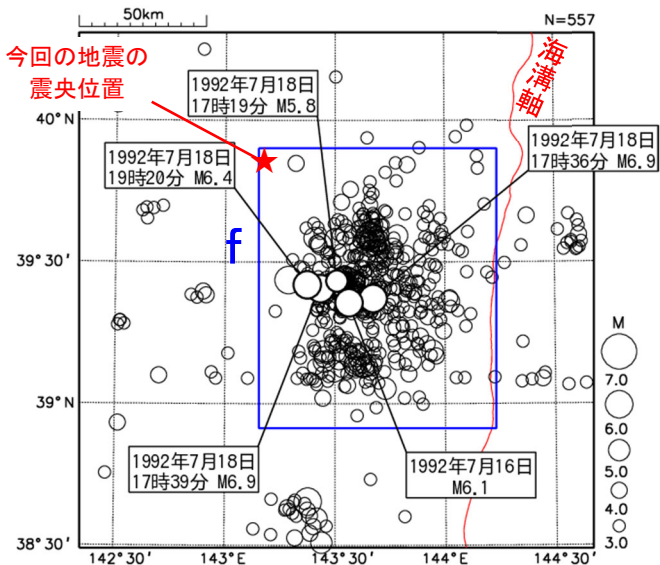


図2-13 震央分布図 (1992年7月1日～1992年9月30日、深さ0～90km、M≥3.0)

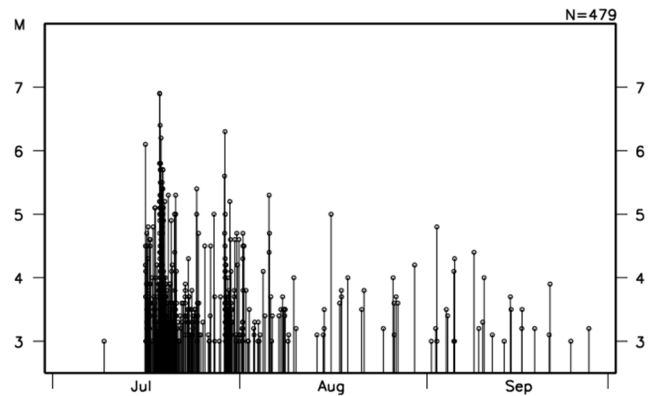


図2-14 領域f内のM-T図

(3) 震度と加速度

2026年4月20日16時52分に発生した地震（M7.7）により、青森県階上町で震度5強を観測したほか、北海道から近畿地方にかけて震度5弱～1を観測した。

ア. 4月20日16時52分のM7.7の地震の震度と加速度

この地震の震度分布図を図3-1に、推計震度分布図を図3-2に、震度5弱以上を観測した地点の計測震度及び最大加速度を表3-1に示す。

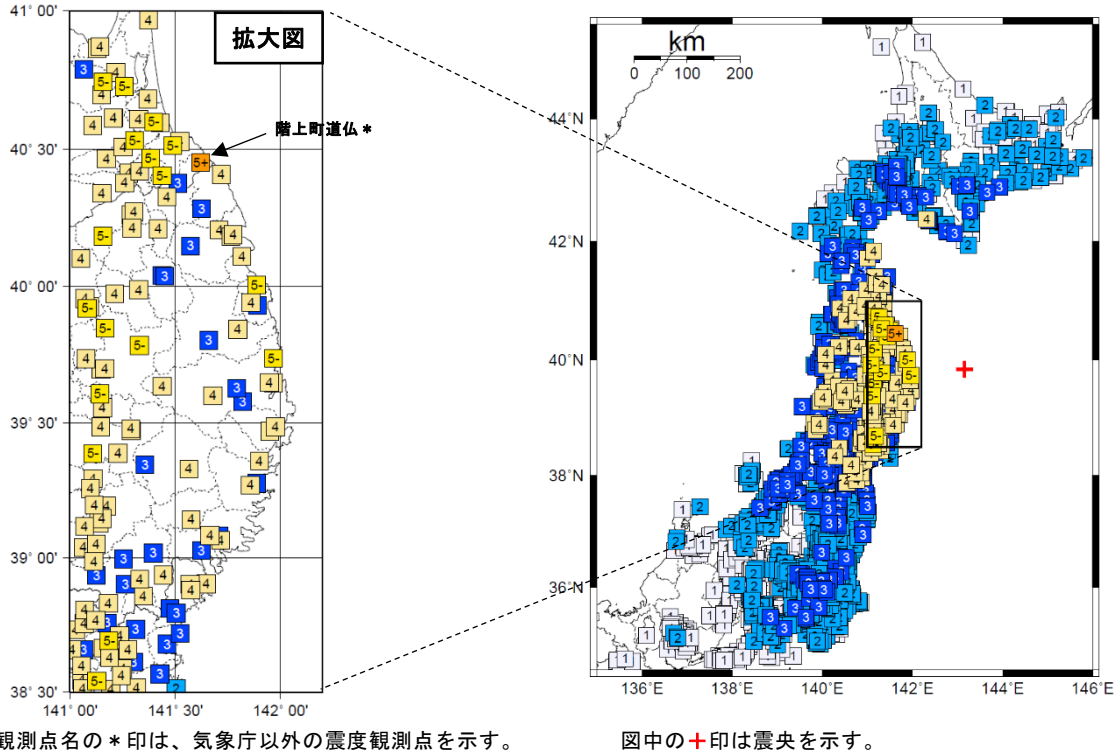
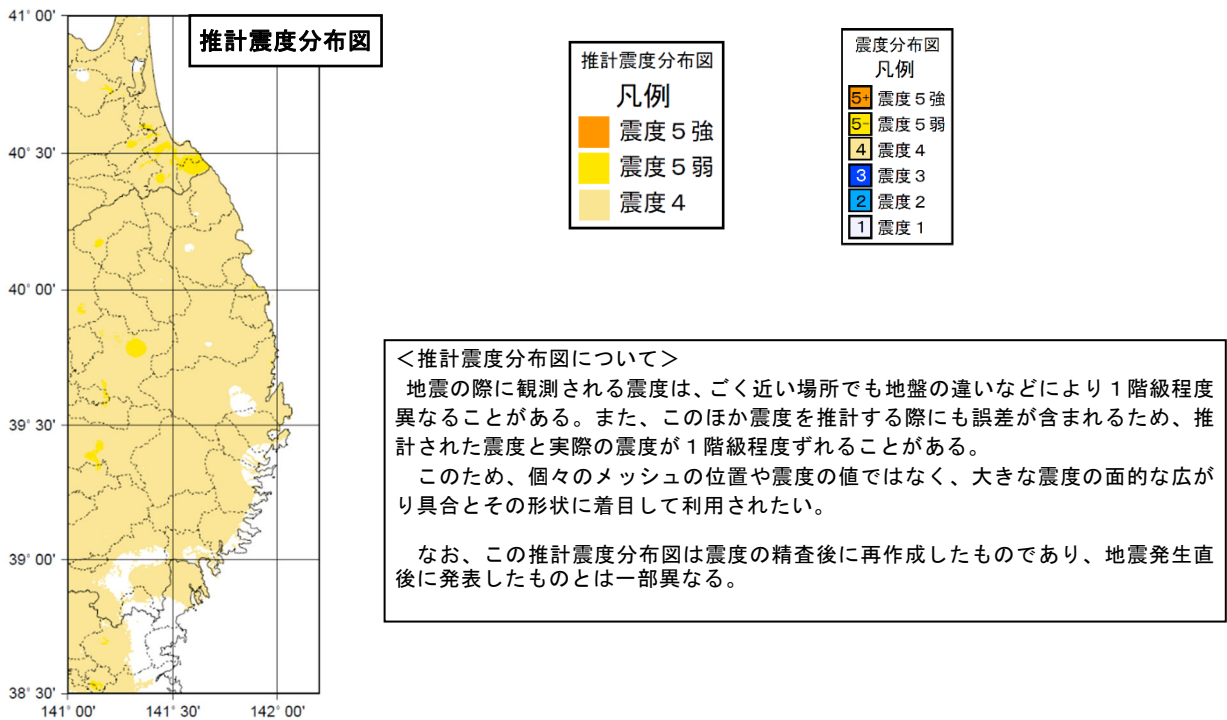


図3-1 2026年4月20日16時52分 三陸沖の地震（M7.7、最大震度5強）の震度分布図



※本推計震度分布図は、地震発生当日に作成されたものである。

図3-2 2026年4月20日16時52分 三陸沖の地震（M7.7、最大震度5強）の推計震度分布図

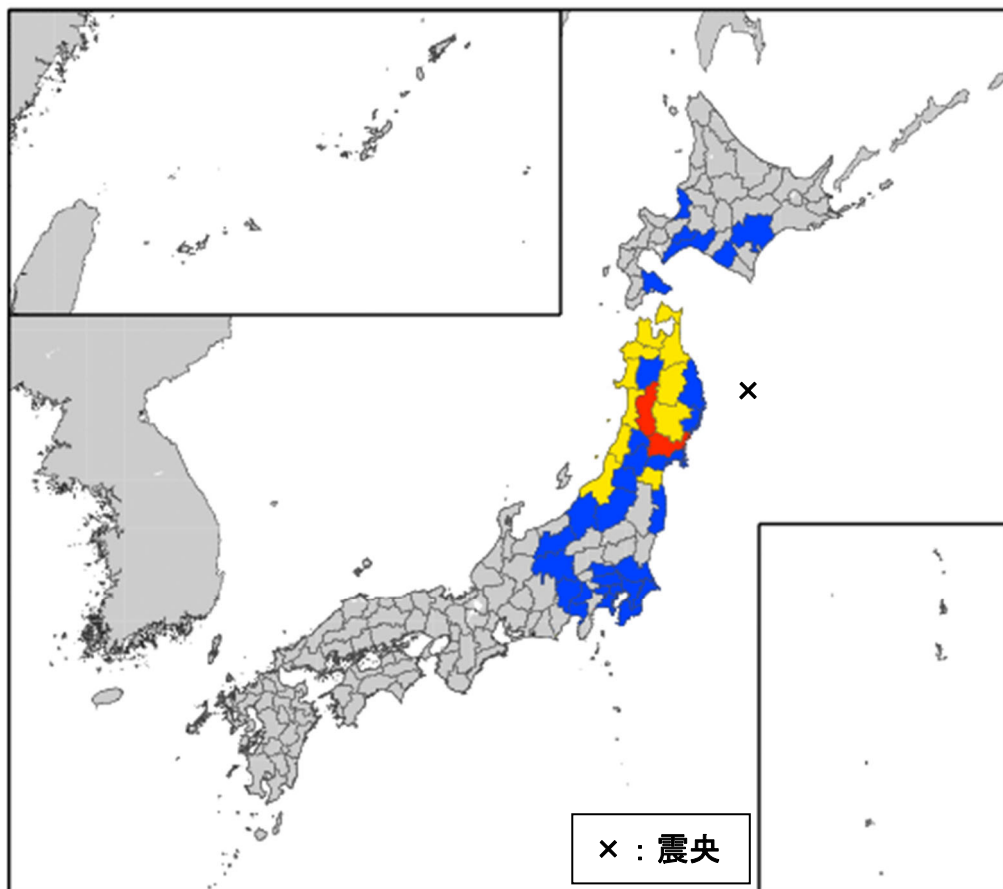
表3-1 2026年4月20日16時52分 三陸沖の地震の計測震度及び最大加速度  
(震度5弱以上)

都道府県	市区町村	観測点名	震度	計測震度	最大加速度 (gal=cm/s/s)				震央距離 (km)
					合成	南北 成分	東西 成分	上下 成分	
青森県	階上町	階上町道仏	5強	5.0	208.6	159.9	195.6	38.6	147.7
青森県	八戸市	八戸市内丸	5弱	4.5	219.3	160.4	214.9	71.3	160.8
青森県	八戸市	八戸市南郷	5弱	4.7	165.7	164.0	155.4	71.2	159.7
青森県	七戸町	七戸町森ノ上	5弱	4.5	115.9	97.9	89.4	34.2	197.7
青森県	東北町	東北町上北南	5弱	4.5	131.6	118.9	96.6	76.9	189.5
青森県	五戸町	五戸町古館	5弱	4.8	288.2	266.1	193.9	87.6	175.4
青森県	青森南部町	青森南部町苫米地	5弱	4.5	150.0	99.4	139.0	42.6	166.7
青森県	おいらせ町	おいらせ町中下田	5弱	4.6	106.1	87.9	102.1	40.0	172.1
岩手県	宮古市	宮古市田老	5弱	4.5	131.3	121.9	129.8	69.0	102.8
岩手県	普代村	普代村銅屋	5弱	4.7	144.5	75.1	144.0	58.5	110.5
岩手県	盛岡市	盛岡市薮川	5弱	4.7	138.7	88.8	136.7	61.8	156.9
岩手県	盛岡市	盛岡市渋民	5弱	4.5	166.4	148.9	147.0	109.4	170.6
岩手県	二戸市	二戸市浄法寺町	5弱	4.6	160.9	116.1	131.6	32.9	175.3
岩手県	八幡平市	八幡平市田頭	5弱	4.7	238.8	227.0	220.4	48.6	178.0
岩手県	矢巾町	矢巾町南矢幅	5弱	4.5	118.3	116.3	88.4	51.2	174.9
岩手県	花巻市	花巻市材木町	5弱	4.7	116.7	110.7	71.6	44.5	183.2
宮城県	涌谷町	涌谷町新町裏	5弱	4.7	86.5	72.1	83.1	19.0	227.3
宮城県	登米市	登米市迫町	5弱	4.7	104.8	93.4	98.1	22.4	212.8

(4) 長周期地震動

ア. 観測した長周期地震動階級

この地震により、宮城県北部、秋田県内陸南部で長周期地震動階級3を観測したほか、北海道から中部地方にかけて長周期地震動階級2～1を観測した(図4-1、表4-2)。



長周期地震動階級の凡例: ■ 階級1 ■ 階級2 ■ 階級3 ■ 階級4

図4-1 長周期地震動階級1以上を観測した地域の分布図

表4-1 長周期地震動階級関連解説表

長周期地震動階級	人の体感・行動	室内の状況	備考
長周期地震動階級1	室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。驚く人もいる。	ブラインドなど吊り下げもの大きく揺れる。	—
長周期地震動階級2	室内で大きな揺れを感じ、物につかまりたいと感じる。物につかまらなると歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	キャスター付き什器がわずかに動く。棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。	—
長周期地震動階級3	立っていることが困難になる。	キャスター付き什器が大きく動く。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が入ることがある。
長周期地震動階級4	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされる。	キャスター付き什器が大きく動き、転倒するものがある。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が多くなる。

※ 長周期地震動階級に関する詳細は、「地震・火山月報(防災編)」令和7年12月号の付録10「長周期地震動階級関連解説表」を参照のこと。

[https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/gaikyo/monthly/202512/202512furoku\\_10.pdf](https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/gaikyo/monthly/202512/202512furoku_10.pdf)

表4-2 長周期地震動階級1以上を観測した地域・観測点

2026年04月20日16時52分 三陸沖 北緯39度50.5分 東経143度09.4分 深さ19km M7.7				
都道府県	長周期地震動階級	地域名称	観測点名称	震度
宮城県	3	宮城県北部	涌谷町新町裏	5弱
		宮城県北部	登米市中田町	4
	大崎市古川三日町		4	
	大崎市古川大崎		4	
	2	宮城県南部	仙台空港	3
		宮城県北部	気仙沼市赤岩	4
	栗原市栗駒		4	
	南三陸町志津川		3	
	1	宮城県中部	仙台青葉区大倉	3
			仙台宮城野区五輪	3
			石巻市泉町	3
			松島町高城	4
	秋田県	3	秋田県内陸南部	横手市雄物川町今宿
2		秋田県沿岸北部	能代市緑町	3
			能代市常盤山谷	3
			五城目町西磯ノ目	3
秋田県沿岸南部		秋田市山王	3	
		秋田市雄和女米木	3	
		由利本荘市石脇	3	
秋田県内陸南部		湯沢市沖鶴	3	
		秋田美郷町六郷東根	3	
1		秋田県沿岸北部	男鹿市男鹿中	2
		秋田県内陸北部	大館市比内町味噌内	3
			北秋田市花園町	4
秋田県内陸南部		仙北市角館町中菅沢	3	
青森県	2	青森県津軽北部	青森市花園	4
			五所川原市栄町	3
		青森県津軽南部	弘前市和田町	3
			鱒ヶ沢町舞戸町鳴戸	3
	青森県三八上北	五戸町古館	5弱	
	青森県下北	むつ市金曲	4	
	1	青森県津軽北部	平内町小湊	4
		青森県津軽南部	弘前市弥生	3
			深浦町深浦岡町	2
		青森県三八上北	七戸町北天間館	3
六ヶ所村尾駸	4			
青森県下北	東通村砂子又蒲谷地	4		
岩手県	2	岩手県内陸北部	八幡平市大更	4
			雫石町千刈田	4
			雫石町西根上駒木野	4
		岩手県内陸南部	北上市柳原町	4
			奥州市水沢大鐘町	4

	1	岩手県沿岸北部	宮古市鎌ヶ崎	4		
			宮古市長沢	3		
			久慈市川崎町	4		
			久慈市枝成沢	4		
			山田町八幡町	4		
			田野畑村田野畑	4		
		岩手県沿岸南部	大船渡市大船渡町	4		
			大船渡市猪川町	4		
			釜石市只越町	3		
		岩手県内陸北部	盛岡市山王町	4		
			二戸市福岡	4		
			葛巻町葛巻元木	4		
		岩手県内陸南部	花巻市大迫町	4		
			一関市大東町	3		
山形県	2	山形県庄内	鶴岡市馬場町	3		
			酒田市亀ヶ崎	4		
			遊佐町遊佐	3		
			遊佐町小原田	3		
	1	山形県庄内	鶴岡市温海川	3		
			酒田市飛鳥	3		
		山形県最上	新庄市東谷地田町	3		
			山形金山町中田	2		
		山形県村山	山形市緑町	2		
			河北町西里	3		
		山形県置賜	米沢市駅前	3		
			米沢市アルカディア	3		
			山形小国町岩井沢	3		
			白鷹町黒鴨	3		
		新潟県	2	新潟県下越	新潟空港	3
					新潟中央区美咲町	3
					新潟西蒲区巻仮設庁舎	3
			1	新潟県中越	長岡市幸町	2
小千谷市城内	2					
出雲崎町米田	2					
新潟県下越	新潟秋葉区程島			2		
	五泉市村松乙			2		
	胎内市新和町			3		
	粟島浦村笹畑			2		
北海道	1	石狩地方北部	石狩市花川	2		
		石狩地方南部	千歳市北栄	3		
			新千歳空港	3		
		渡島地方東部	渡島森町御幸町	2		
		胆振地方中東部	苫小牧市末広町	3		
			日高地方中部	新ひだか町静内山手町	3	
		新ひだか町静内御園		2		
		十勝地方中部	帯広市東4条	3		

福島県	1	福島県浜通り	いわき市小名浜	3
			南相馬市原町区三島町	3
			浪江町幾世橋	3
		福島県会津	会津若松市材木町	2
			西会津町野沢	2
			猪苗代町城南	2
茨城県	1	茨城県南部	土浦市常名	2
			茨城鹿嶋市鉢形	2
			潮来市堀之内	2
			筑西市舟生	2
			利根町布川	2
埼玉県	1	埼玉県北部	久喜市下早見	2
		埼玉県南部	さいたま大宮区天沼町*	2
			さいたま浦和区高砂	2
			春日部市粕壁*	3
千葉県	1	千葉県北東部	東金市東新宿	2
			香取市佐原平田	2
			山武市松尾町富士見台	2
			多古町多古	2
		千葉県北西部	千葉美浜区ひび野	2
			千葉美浜区稲毛海岸*	2
			市川市大町*	2
			成田国際空港	2
			成田市名古屋	2
			柏市旭町	2
			市原市姉崎*	2
			浦安市日の出	3
		千葉県南部	南房総市上堀	2
東京都	1	東京都23区	東京新宿区西新宿	2
			東京新宿区上落合*	2
			東京国際空港	2
			東京江戸川区中央	2
		東京都多摩東部	八王子市大横町	2
神奈川県	1	神奈川県東部	横浜鶴見区大黒ふ頭	—
			平塚市浅間町*	2
山梨県	1	山梨県中・西部	甲府市飯田	2
		山梨県東部・富士五湖	富士河口湖町船津	2
長野県	1	長野県北部	長野市箱清水	1
		長野県中部	諏訪市湖岸通り	2
静岡県	1	静岡県東部	御殿場市萩原	2

\*印は、気象庁以外の観測点を示す。

## イ. 地震波形等

図4-2に涌谷町新町裏、図4-3に横手市雄物川町今宿における地震波形、絶対速度応答スペクトル(Sva)及び絶対加速度応答スペクトルを示す。涌谷町新町裏では、周期区分の1秒台で長周期地震動階級3を観測し、周期1.6秒でSvaが最大値を示した(図4-2、表4-3)。横手市雄物川町今宿では、周期区分の2、3秒台で長周期地震動階級3を観測し、周期2.8秒でSvaが最大値を示した(図4-3、表4-3)。

また、図4-2、3及び表4-3で掲載した観測点の位置、および震央との位置関係を図4-4に示す。

<b>【観測地点】</b> 地点名：涌谷町新町裏 地域名：宮城県北部 観測開始時刻：2026.04.20 16:53:20 観測時間：7分	<b>【震度】</b> <b>5弱</b>	<b>【長周期地震動階級】</b> <b>3</b>	<b>【長周期地震動の周期別階級】</b>							①
			周期 1秒台 2秒台 3秒台 4秒台 5秒台 6秒台 7秒台 階級 3 2 2 1 1 1 0							

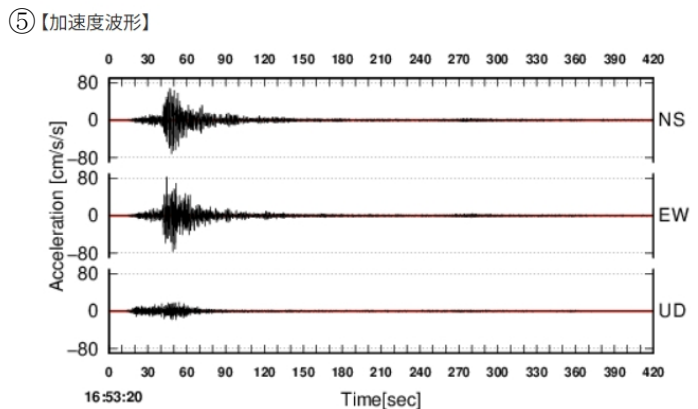
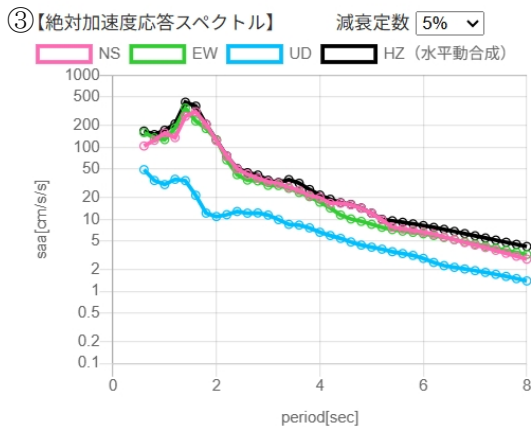
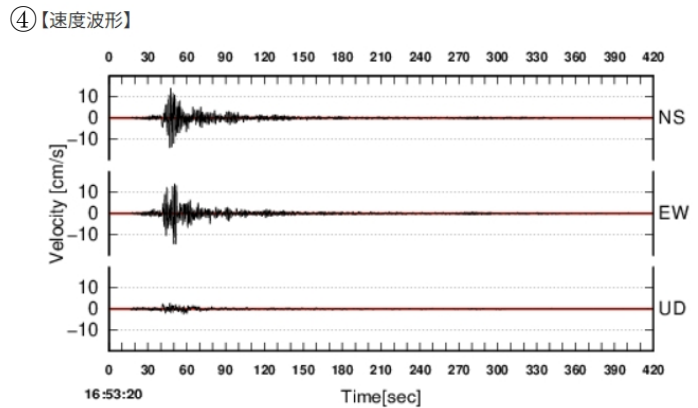
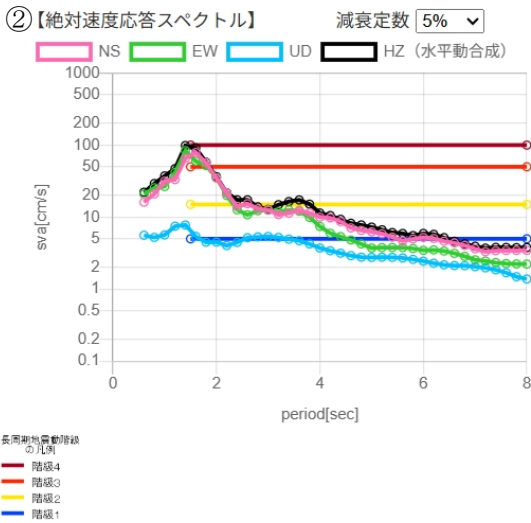
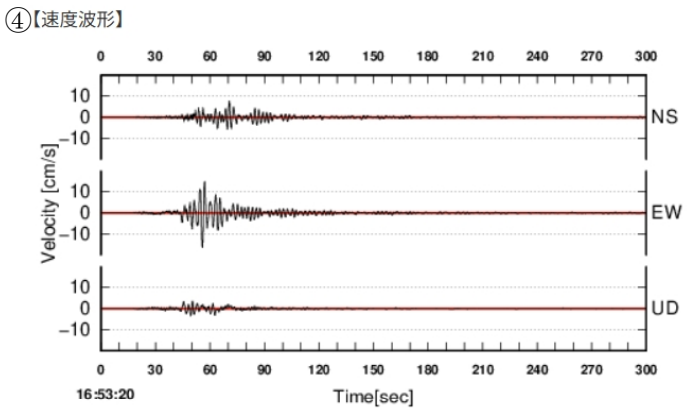
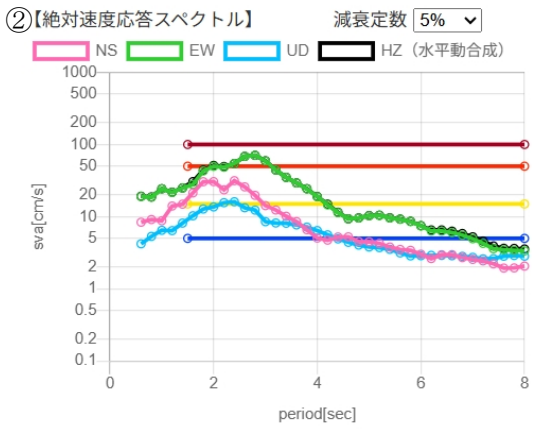


図4-2 涌谷町新町裏で観測した波形、絶対速度応答スペクトル及び絶対加速度応答スペクトル(ただし、速度波形、加速度波形は16時53分20秒からの7分間を表示)

<b>【観測地点】</b> 地点名：横手市雄物川町今宿 地域名：秋田県内陸南部 観測開始時刻：2026.04.20 16:53:20 観測時間：5分	<b>【震度】</b> <div style="text-align: center; font-size: 24pt; color: red;">4</div>	<b>【長周期地震動階級】</b> <div style="text-align: center; font-size: 24pt; color: red;">3</div>	<b>【長周期地震動の周期別階級】</b>													
			<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>周期</th> <th>1秒台</th> <th>2秒台</th> <th>3秒台</th> <th>4秒台</th> <th>5秒台</th> <th>6秒台</th> <th>7秒台</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>階級</td> <td style="background-color: yellow;">2</td> <td style="background-color: red;">3</td> <td style="background-color: red;">3</td> <td style="background-color: yellow;">2</td> <td style="background-color: blue;">1</td> <td style="background-color: blue;">1</td> <td style="background-color: blue;">1</td> </tr> </tbody> </table>	周期	1秒台	2秒台	3秒台	4秒台	5秒台	6秒台	7秒台	階級	2	3	3	2
周期	1秒台	2秒台	3秒台	4秒台	5秒台	6秒台	7秒台									
階級	2	3	3	2	1	1	1									

①



長周期地震動階級の凡例

- 階級4 (Red)
- 階級3 (Yellow)
- 階級2 (Blue)
- 階級1 (Green)

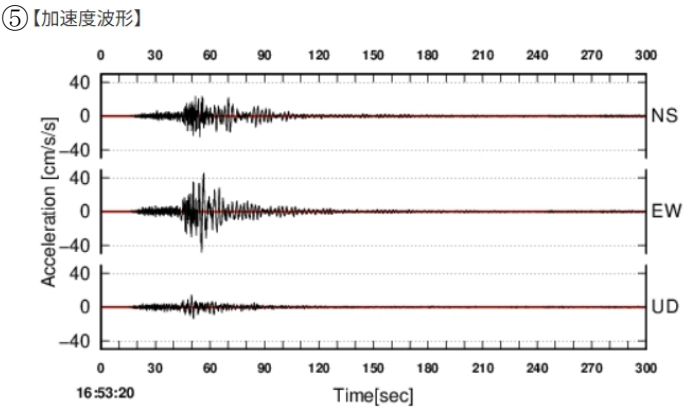
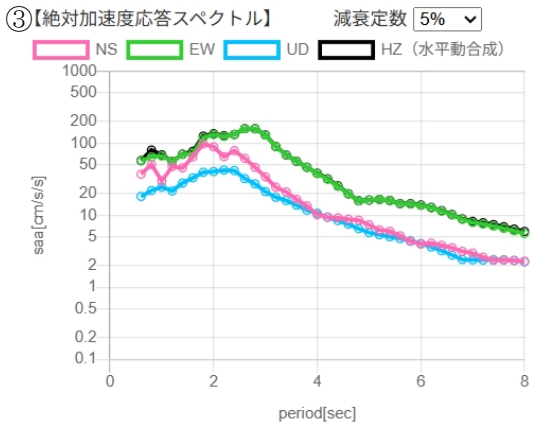


図4-3 横手市雄物川町今宿で観測した波形、絶対速度応答スペクトル及び絶対加速度応答スペクトル（ただし、速度波形、加速度波形は16時53分20秒からの5分間を表示）

図4-2、3の説明

- ① 観測点名，地域名，地震波形の観測開始時間，観測時間，観測点における震度，観測点における長周期地震動階級，観測点における長周期地震動の周期別階級（周期区別の絶対速度応答スペクトルの最大値から長周期地震動階級を求めたもの）．周期区分は，周期1.6秒～周期1.8秒を1秒台，周期2.0秒～周期2.8秒を2秒台，周期3.0秒～周期3.8秒を3秒台，周期4.0秒～周期4.8秒を4秒台，周期5.0秒～周期5.8秒を5秒台，周期6.0秒～周期6.8秒を6秒台，周期7.0秒～周期7.8秒を7秒台と表示している．
- ② 絶対速度応答スペクトルグラフ．横軸は周期（秒），縦軸は速度応答値（単位はcm/sec）で，NS（赤），EW（緑），UD（青）の3成分及び水平動合成（黒）について表示した．減衰定数5%はビルの設計に一般的に用いられている値である．
- ③ 絶対加速度応答スペクトルグラフ．横軸は周期（秒），縦軸は加速度応答値（単位はcm/sec/sec）で，NS（赤），EW（緑），UD（青）の3成分及び水平動合成（黒）について表示した．減衰定数5%はビルの設計に一般的に用いられている値である．
- ④ 速度波形表示．成分は、上から南北成分（NS），東西成分（EW），上下成分（UD）である．3成分とも同じ縮尺で示す．
- ⑤ 加速度波形表示．表示は④と同じ．

表 4 - 3 長周期地震動階級 2 以上を観測した観測点  
(絶対速度応答スペクトル (Sva) の大きい順に表示)

2026 年 04 月 20 日 16 時 52 分 三陸沖 北緯 39 度 50.5 分 東経 143 度 09.4 分 深さ 19km M7.7						
都道府県	長周期地震動階級	最大 Sva (cm/s)	最大 Sva 対応周期 (秒)	地域名称	観測点名称	震度
宮城県	3	91.51	1.6	宮城県北部	涌谷町新町裏	5 弱
秋田県	3	70.74	2.8	秋田県内陸南部	横手市雄物川町今宿	4
岩手県	2	41.58	2.8	岩手県内陸南部	奥州市水沢大鐘町	4
宮城県	2	37.96	3.6	宮城県北部	大崎市古川大崎	4
山形県	2	33.99	2.4	山形県庄内	酒田市亀ヶ崎	4
宮城県	2	33.69	1.6	宮城県北部	登米市中田町	4
宮城県	2	32.98	4.4	宮城県北部	大崎市古川三日町	4
山形県	2	28.87	2.0	山形県庄内	遊佐町遊佐	3
青森県	2	28.77	2.0	青森県津軽北部	青森市花園	4
青森県	2	25.17	2.0	青森県三八上北	五戸町古館	5 弱
岩手県	2	23.89	3.2	岩手県内陸北部	雫石町西根上駒木野	4
秋田県	2	23.58	4.0	秋田県沿岸北部	能代市常盤山谷	3
秋田県	2	23.05	2.0	秋田県内陸南部	湯沢市沖鶴	3
秋田県	2	22.64	2.4	秋田県沿岸南部	秋田市雄和女米木	3
秋田県	2	22.27	2.2	秋田県内陸南部	秋田美郷町六郷東根	3
秋田県	2	22.22	3.2	秋田県沿岸北部	能代市緑町	3
秋田県	2	21.66	2.4	秋田県沿岸南部	由利本荘市石脇	3
宮城県	2	21.22	1.8	宮城県南部	仙台空港	3
秋田県	2	20.73	2.6	秋田県沿岸北部	五城目町西磯ノ目	3
新潟県	2	20.31	3.4	新潟県下越	新潟空港	3
秋田県	2	19.69	3.2	秋田県沿岸南部	秋田市山王	3
岩手県	2	19.01	2.6	岩手県内陸北部	雫石町千刈田	4
新潟県	2	18.97	2.8	新潟県下越	新潟西蒲区巻仮設庁舎	3
山形県	2	18.61	4.2	山形県庄内	鶴岡市馬場町	3
岩手県	2	18.60	2.0	岩手県内陸南部	北上市柳原町	4
青森県	2	17.47	2.0	青森県下北	むつ市金曲	4
岩手県	2	17.28	1.8	岩手県内陸北部	八幡平市大更	4
山形県	2	17.19	2.4	山形県庄内	遊佐町小原田	3
新潟県	2	16.98	3.2	新潟県下越	新潟中央区美咲町	3
青森県	2	16.91	4.2	青森県津軽南部	弘前市和田町	3
青森県	2	16.34	3.6	青森県津軽南部	鯨ヶ沢町舞戸町鳴戸	3
青森県	2	16.00	3.4	青森県津軽北部	五所川原市栄町	3

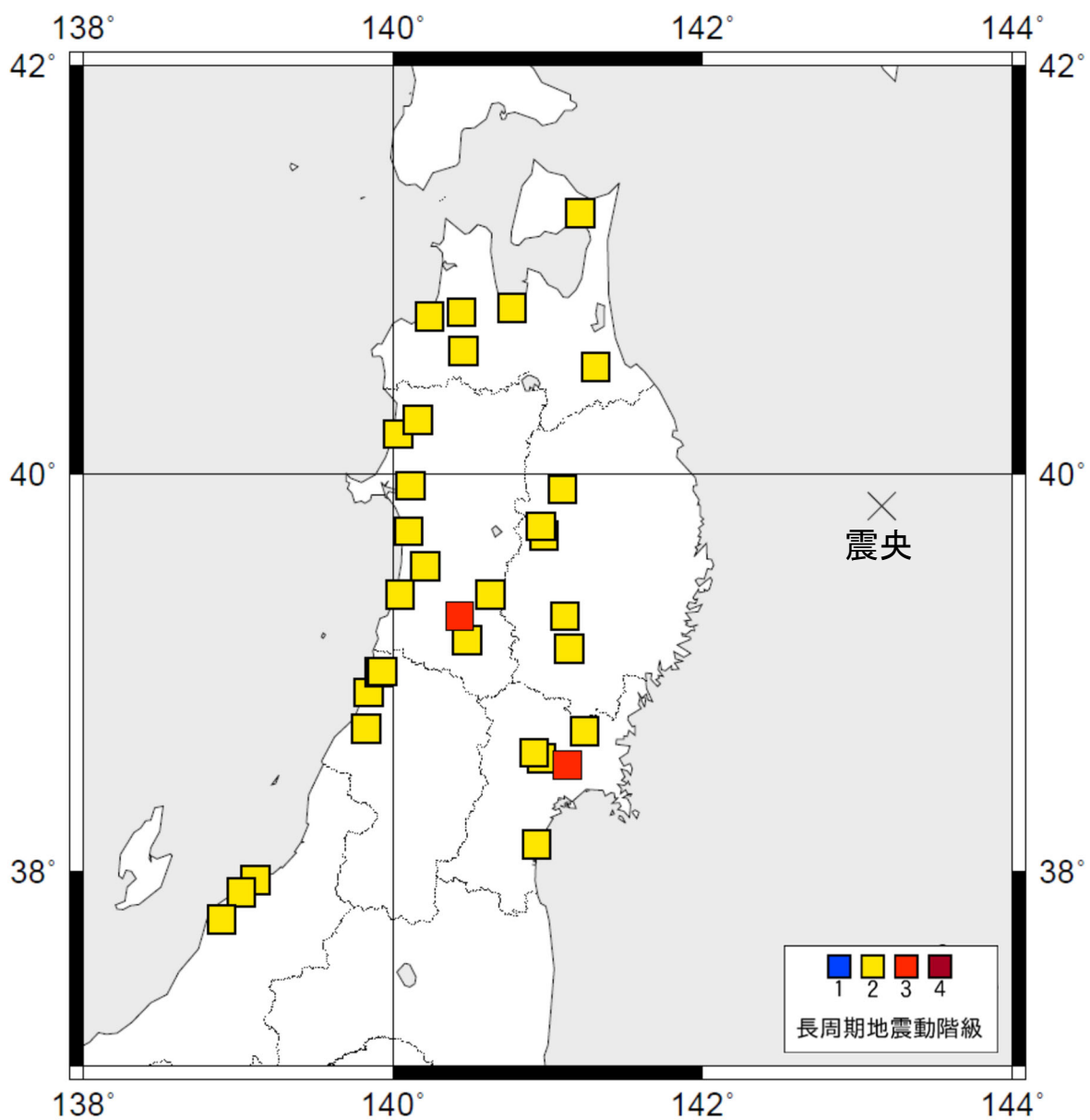


図4-4 長周期地震動階級2以上を観測した観測点の位置及び震央との位置関係

(5) 緊急地震速報の内容

・ 4月20日16時52分 三陸沖の地震 (M7.7)

4月20日16時52分に発生した三陸沖の地震 (M7.7) に対して発表した緊急地震速報について、その内容の詳細を以下の表及び図により示す。

表5-1 発生した地震の概要 (暫定値)

地震発生日時	震央地名	北緯	東経	深さ	M	最大震度	最大長周期地震動階級
令和8年04月20日 16時52分58.0秒	三陸沖	39° 50.5′	143° 09.4′	19km	7.7	5強	3

表5-2 緊急地震速報の詳細 (緊急地震速報 (警報) は背景が灰色のときに発表)

提供時刻等		経過時間	震源要素					予測震度 および 長周期地震動階級
地震波 検知時刻	16時53分3.5秒		震央地名	北緯	東経	深さ	M	
第1報	16時53分08.8秒	5.3	三陸沖	39.9	143.2	10km	4.7	最大震度2程度以上
第2報	16時53分09.3秒	5.8	三陸沖	39.8	143.2	10km	5.4	最大震度3程度以上
第3報	16時53分09.5秒	6.0	三陸沖	39.8	143.2	10km	5.5	最大震度3程度以上
第4報	16時53分12.5秒	9.0	三陸沖	39.8	143.2	20km	6.0	最大震度3程度以上
第5報	16時53分13.6秒	10.1	三陸沖	39.9	143.2	20km	6.0	最大震度3程度以上
第6報	16時53分14.5秒	11.0	三陸沖	39.9	143.2	20km	6.2	※1
第7報	16時53分17.4秒	13.9	三陸沖	39.9	143.2	20km	6.3	※2
第8報	16時53分17.5秒	14.0	三陸沖	39.9	143.2	20km	6.5	※3
第9報	16時53分18.5秒	15.0	三陸沖	39.9	143.2	20km	6.3	※2
第10報	16時53分19.5秒	16.0	三陸沖	39.9	143.2	20km	6.5	※3
第11報	16時53分20.4秒	16.9	三陸沖	39.8	143.2	20km	6.9	※4
第12報	16時53分21.7秒	18.2	三陸沖	39.8	143.2	20km	7.0	※5
<b>第13報</b>	<b>16時53分23.3秒</b>	<b>19.8</b>	<b>三陸沖</b>	<b>39.8</b>	<b>143.2</b>	<b>20km</b>	<b>7.1</b>	<b>※6</b>
第14報	16時53分23.4秒	19.9	三陸沖	39.9	143.2	30km	7.2	※7
第15報	16時53分24.5秒	21.0	三陸沖	39.9	143.2	30km	7.3	※8
第16報	16時53分25.2秒	21.7	三陸沖	39.9	143.2	30km	7.2	※7
第17報	16時53分25.8秒	22.3	三陸沖	39.9	143.2	30km	6.9	※9
第18報	16時53分26.3秒	22.8	三陸沖	39.9	143.2	30km	7.0	※10
第19報	16時53分29.3秒	25.8	三陸沖	39.9	143.2	30km	6.7	※11
第20報	16時53分29.5秒	26.0	三陸沖	39.9	143.2	30km	6.8	※12
第21報	16時53分33.6秒	30.1	三陸沖	39.9	143.2	30km	6.8	※12
第22報	16時53分34.7秒	31.2	三陸沖	39.9	143.2	30km	6.8	※12

第23報	16時53分36.3秒	32.8	三陸沖	39.9	143.2	30km	6.9	※9
第24報	16時53分37.3秒	33.8	三陸沖	39.9	143.2	30km	7.0	※10
第25報	16時53分38.5秒	35.0	三陸沖	39.9	143.2	30km	7.1	※13
第26報	16時53分39.4秒	35.9	三陸沖	39.9	143.2	30km	7.2	※7
第27報	16時53分40.5秒	37.0	三陸沖	39.9	143.2	30km	7.3	※8
第28報	16時53分41.2秒	37.7	三陸沖	39.9	143.2	30km	7.4	※14
第29報	16時53分42.5秒	39.0	三陸沖	39.9	143.2	30km	7.5	※15
第30報	16時54分02.1秒	58.6	三陸沖	39.9	143.2	30km	7.5	※15
第31報	16時54分16.9秒	73.4	三陸沖	39.9	143.2	30km	7.5	※16
第32報	16時54分36.0秒	92.5	三陸沖	39.9	143.2	30km	7.5	※16
第33報	16時54分42.3秒	98.8	三陸沖	39.9	143.2	30km	7.5	※16
第34報	16時55分02.1秒	118.6	三陸沖	39.9	143.2	30km	7.5	※16
第35報	16時55分22.0秒	138.5	三陸沖	39.9	143.2	30km	7.5	※16
第36報	16時55分42.0秒	158.5	三陸沖	39.9	143.2	30km	7.5	※16
第37報	16時56分02.0秒	178.5	三陸沖	39.9	143.2	30km	7.5	※16
第38報	16時56分22.0秒	198.5	三陸沖	39.9	143.2	30km	7.5	※16
第39報	16時56分42.0秒	218.5	三陸沖	39.9	143.2	30km	7.5	※16
第40報	16時56分50.0秒	226.5	三陸沖	39.9	143.2	30km	7.5	※16

- ※1 震度4程度 青森県三八上北  
震度3から4程度 岩手県沿岸北部
- ※2 震度4程度 岩手県沿岸北部、青森県三八上北、岩手県内陸北部  
長周期地震動階級1 宮城県北部
- ※3 震度4程度 岩手県沿岸北部、青森県三八上北、岩手県内陸北部  
震度3から4程度 岩手県沿岸南部、宮城県中部  
長周期地震動階級1 青森県三八上北、青森県津軽北部、宮城県北部
- ※4 震度4程度 岩手県沿岸北部、岩手県沿岸南部、青森県三八上北、岩手県内陸北部、  
岩手県内陸南部、宮城県中部、青森県下北、宮城県北部  
震度3から4程度 青森県津軽北部、渡島地方東部  
長周期地震動階級2 宮城県北部  
長周期地震動階級1 岩手県沿岸北部、青森県三八上北、岩手県内陸北部、岩手県内陸南部、  
青森県下北、青森県津軽北部、秋田県沿岸北部、山形県庄内、新潟県下越
- ※5 震度4程度 岩手県沿岸北部、岩手県沿岸南部、青森県三八上北、岩手県内陸北部、  
岩手県内陸南部、宮城県中部、青森県津軽北部、青森県下北、宮城県北部、  
渡島地方東部  
震度3から4程度 秋田県内陸南部、宮城県南部、福島県中通り  
長周期地震動階級2 宮城県北部

長周期地震動階級 1	岩手県沿岸北部、青森県三八上北、岩手県内陸北部、岩手県内陸南部、青森県津軽北部、青森県下北、秋田県内陸南部、青森県津軽南部、秋田県沿岸南部、秋田県沿岸北部、山形県庄内、石狩地方南部、新潟県下越
※6 震度 4 から 5 弱程度	岩手県沿岸北部、青森県三八上北
震度 4 程度	岩手県沿岸南部、岩手県内陸北部、岩手県内陸南部、宮城県中部、青森県津軽北部、青森県下北、宮城県北部、秋田県内陸南部、宮城県南部、渡島地方東部、福島県中通り
震度 3 から 4 程度	秋田県沿岸北部
長周期地震動階級 2	宮城県北部
長周期地震動階級 1	岩手県沿岸北部、青森県三八上北、岩手県内陸北部、岩手県内陸南部、宮城県中部、青森県津軽北部、青森県下北、秋田県内陸南部、宮城県南部、秋田県沿岸北部、秋田県内陸北部、青森県津軽南部、秋田県沿岸南部、日高地方中部、山形県庄内、十勝地方中部、胆振地方中東部、山形県置賜、石狩地方南部、新潟県下越、石狩地方北部
※7 震度 5 弱程度	青森県三八上北
震度 4 から 5 弱程度	岩手県沿岸北部、岩手県内陸北部
震度 4 程度	岩手県沿岸南部、岩手県内陸南部、青森県下北、青森県津軽北部、宮城県中部、宮城県北部、秋田県内陸南部、秋田県沿岸北部、渡島地方東部、宮城県南部、福島県中通り
震度 3 から 4 程度	秋田県内陸北部、青森県津軽南部、日高地方東部、秋田県沿岸南部、胆振地方中東部、石狩地方中部
長周期地震動階級 2	青森県三八上北、青森県津軽北部、宮城県北部
長周期地震動階級 1	岩手県沿岸北部、岩手県内陸北部、岩手県内陸南部、青森県下北、宮城県中部、秋田県内陸南部、秋田県沿岸北部、宮城県南部、秋田県内陸北部、青森県津軽南部、秋田県沿岸南部、胆振地方中東部、山形県最上、日高地方中部、十勝地方中部、山形県庄内、山形県村山、山形県置賜、石狩地方南部、新潟県下越、後志地方東部、石狩地方北部、空知地方中部、千葉県北西部、東京都 2 3 区、神奈川県東部
※8 震度 5 弱程度	岩手県沿岸北部、青森県三八上北、岩手県内陸北部
震度 4 から 5 弱程度	岩手県沿岸南部
震度 4 程度	岩手県内陸南部、青森県下北、青森県津軽北部、宮城県中部、宮城県北部、秋田県内陸南部、秋田県沿岸北部、渡島地方東部、宮城県南部、福島県中通り、石狩地方中部
震度 3 から 4 程度	秋田県内陸北部、青森県津軽南部、日高地方東部、秋田県沿岸南部、日高地方中部、山形県庄内、山形県村山、福島県浜通り、胆振地方中東部
長周期地震動階級 2	青森県三八上北、岩手県内陸南部、青森県津軽北部、宮城県北部、山形県庄内

長周期地震動階級 1	岩手県沿岸北部、岩手県内陸北部、青森県下北、宮城県中部、秋田県内陸南部、秋田県沿岸北部、渡島地方東部、宮城県南部、秋田県内陸北部、青森県津軽南部、日高地方東部、秋田県沿岸南部、日高地方中部、山形県村山、福島県浜通り、胆振地方中東部、山形県最上、十勝地方中部、山形県置賜、石狩地方南部、胆振地方西部、空知地方南部、新潟県下越、後志地方東部、石狩地方北部、福島県会津、後志地方西部、空知地方中部、茨城県南部、千葉県北西部、千葉県北東部、東京都23区、長野県中部、神奈川県東部
※9 震度 4 程度	岩手県沿岸北部、岩手県沿岸南部、青森県三八上北、岩手県内陸北部、岩手県内陸南部、青森県下北、青森県津軽北部、宮城県中部、宮城県北部、渡島地方東部
震度 3 から 4 程度	秋田県内陸南部
長周期地震動階級 1	岩手県沿岸北部、青森県三八上北、岩手県内陸北部、岩手県内陸南部、青森県下北、青森県津軽北部、宮城県北部、秋田県沿岸北部、山形県庄内、石狩地方南部、新潟県下越
※10 震度 4 から 5 弱程度	青森県三八上北
震度 4 程度	岩手県沿岸北部、岩手県沿岸南部、岩手県内陸北部、岩手県内陸南部、青森県下北、青森県津軽北部、宮城県中部、宮城県北部、秋田県内陸南部、渡島地方東部
震度 3 から 4 程度	秋田県沿岸北部、宮城県南部、福島県中通り
長周期地震動階級 2	宮城県北部
長周期地震動階級 1	青森県三八上北、岩手県沿岸北部、岩手県内陸北部、岩手県内陸南部、青森県下北、青森県津軽北部、秋田県内陸南部、秋田県沿岸北部、青森県津軽南部、秋田県沿岸南部、山形県庄内、石狩地方南部、新潟県下越
※11 震度 4 程度	岩手県沿岸北部、岩手県沿岸南部、青森県三八上北、岩手県内陸北部、岩手県内陸南部、青森県下北、宮城県中部、宮城県北部
長周期地震動階級 1	青森県三八上北、岩手県内陸南部、宮城県北部、青森県津軽北部、山形県庄内
※12 震度 4 程度	岩手県沿岸北部、岩手県沿岸南部、青森県三八上北、岩手県内陸北部、岩手県内陸南部、青森県下北、宮城県中部、宮城県北部
震度 3 から 4 程度	青森県津軽北部、渡島地方東部
長周期地震動階級 1	岩手県沿岸北部、青森県三八上北、岩手県内陸北部、岩手県内陸南部、青森県下北、宮城県北部、青森県津軽北部、山形県庄内
※13 震度 5 弱程度	青森県三八上北
震度 4 から 5 弱程度	岩手県沿岸北部、岩手県内陸北部

震度 4 程度 岩手県沿岸南部、岩手県内陸南部、青森県下北、宮城県北部、青森県津軽北部、宮城県中部、秋田県内陸南部、秋田県沿岸北部、渡島地方東部、宮城県南部、福島県中通り

長周期地震動階級 2 宮城県北部

長周期地震動階級 1 青森県三八上北、岩手県沿岸北部、岩手県内陸北部、岩手県内陸南部、青森県下北、青森県津軽北部、秋田県内陸南部、秋田県沿岸北部、宮城県南部、秋田県内陸北部、青森県津軽南部、秋田県沿岸南部、日高地方中部、十勝地方中部、山形県庄内、胆振地方中東部、石狩地方南部、新潟県下越、石狩地方北部

※14 震度 5 弱から 5 強程度 青森県三八上北

震度 5 弱程度 岩手県沿岸北部、岩手県内陸北部

震度 4 から 5 弱程度 岩手県沿岸南部、宮城県中部

震度 4 程度 岩手県内陸南部、秋田県内陸北部、青森県下北、青森県津軽北部、宮城県北部、青森県津軽南部、秋田県内陸南部、日高地方東部、秋田県沿岸南部、秋田県沿岸北部、渡島地方東部、日高地方中部、宮城県南部、山形県村山、胆振地方中東部、福島県中通り、石狩地方中部

震度 3 から 4 程度 山形県庄内、日高地方西部、福島県浜通り

長周期地震動階級 2 青森県三八上北、岩手県内陸北部、岩手県内陸南部、青森県下北、青森県津軽北部、宮城県北部、秋田県沿岸北部、山形県庄内

長周期地震動階級 1 岩手県沿岸北部、岩手県沿岸南部、宮城県中部、秋田県内陸北部、青森県津軽南部、秋田県内陸南部、日高地方東部、秋田県沿岸南部、渡島地方東部、日高地方中部、宮城県南部、山形県村山、胆振地方中東部、石狩地方中部、福島県浜通り、山形県最上、十勝地方中部、山形県置賜、石狩地方南部、胆振地方西部、空知地方南部、新潟県下越、後志地方東部、石狩地方北部、上川地方南部、福島県会津、後志地方西部、空知地方中部、新潟県中越、茨城県南部、埼玉県北部、埼玉県南部、千葉県北西部、北見地方、千葉県北東部、東京都 2 3 区、長野県中部、神奈川県東部、石川県能登

※15 震度 5 弱から 5 強程度 岩手県沿岸北部、青森県三八上北、岩手県内陸北部

震度 4 から 5 弱程度 岩手県沿岸南部、岩手県内陸南部、青森県下北、宮城県中部、宮城県北部

震度 4 程度 秋田県内陸北部、青森県津軽北部、秋田県内陸南部、青森県津軽南部、日高地方東部、秋田県沿岸北部、渡島地方東部、日高地方中部、宮城県南部、秋田県沿岸南部、山形県庄内、山形県村山、福島県浜通り、胆振地方中東部、福島県中通り、石狩地方中部

震度 3 から 4 程度 十勝地方南部、日高地方西部、石狩地方南部

長周期地震動階級 2 岩手県沿岸北部、青森県三八上北、岩手県内陸北部、岩手県内陸南部、青森県下北、宮城県北部、青森県津軽北部、青森県津軽南部、秋田県沿岸北部、山形県庄内、新潟県下越

長周期地震動階級 1 岩手県沿岸南部、宮城県中部、秋田県内陸北部、秋田県内陸南部、日高地方東部、渡島地方東部、日高地方中部、宮城県南部、秋田県沿岸南部、山形県村山、福島県浜通り、胆振地方中東部、石狩地方中部、石狩地方南部、山形県最上、十勝地方中部、山形県置賜、胆振地方西部、空知地方南部、後志地方東部、石狩地方北部、上川地方南部、福島県会津、後志地方西部、根室地方中部、空知地方中部、茨城県北部、新潟県中越、茨城県南部、埼玉県北部、千葉県北西部、埼玉県南部、北見地方、網走地方、千葉県北東部、新潟県上越、石川県能登、東京都 2 3 区、神奈川県東部、長野県中部、千葉県南部、北海道利尻礼文

※16 震度 5 弱から 5 強程度 岩手県沿岸北部、青森県三八上北、岩手県内陸北部

震度 5 弱程度 秋田県内陸南部

震度 4 から 5 弱程度 岩手県沿岸南部、岩手県内陸南部、青森県下北、宮城県中部、宮城県北部

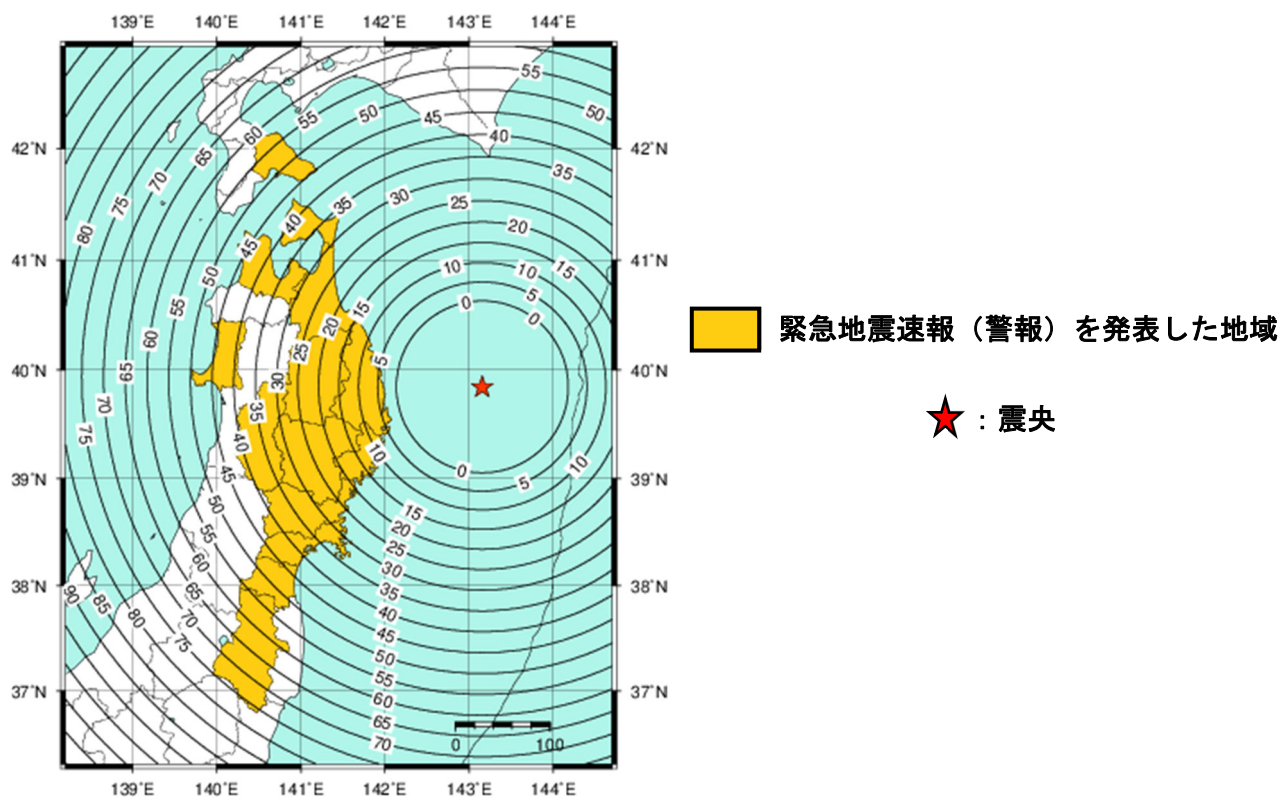
震度 4 程度 秋田県内陸北部、青森県津軽北部、青森県津軽南部、日高地方東部、秋田県沿岸北部、渡島地方東部、日高地方中部、宮城県南部、秋田県沿岸南部、山形県庄内、山形県村山、福島県浜通り、胆振地方中東部、福島県中通り、石狩地方中部

震度 3 から 4 程度 十勝地方南部、日高地方西部、石狩地方南部

長周期地震動階級 2 岩手県沿岸北部、青森県三八上北、岩手県内陸北部、岩手県内陸南部、青森県下北、宮城県北部、青森県津軽北部、青森県津軽南部、秋田県沿岸北部、山形県庄内、新潟県下越

長周期地震動階級 1 岩手県沿岸南部、宮城県中部、秋田県内陸南部、秋田県内陸北部、日高地方東部、渡島地方東部、日高地方中部、宮城県南部、秋田県沿岸南部、山形県村山、福島県浜通り、胆振地方中東部、石狩地方中部、石狩地方南部、山形県最上、十勝地方中部、山形県置賜、胆振地方西部、空知地方南部、後志地方東部、石狩地方北部、上川地方南部、福島県会津、後志地方西部、根室地方中部、空知地方中部、茨城県北部、新潟県中越、茨城県南部、埼玉県北部、千葉県北西部、埼玉県南部、北見地方、網走地方、千葉県北東部、新潟県上越、石川県能登、東京都 2 3 区、神奈川県東部、千葉県南部、長野県中部、北海道利尻礼文

図5-1 警報第1報発表から主要動到達  
までの時間(秒)及び警報発表対象地域の分布図



## (6) 津波

この地震により、岩手県の久慈港(国土交通省港湾局)で最大79cmの津波を観測したほか、北海道及び東北地方の太平洋沿岸で津波を観測した。また、沖合でも津波を観測した。なお、気象庁はこの地震に対して、4月20日16時55分に北海道太平洋沿岸中部、岩手県に津波警報、北海道太平洋沿岸東部、北海道太平洋沿岸西部、青森県太平洋沿岸、宮城県、福島県に津波注意報を発表、17時08分に青森県太平洋沿岸を津波警報、青森県日本海沿岸を津波注意報にそれぞれ切り上げて発表した。その後、20時15分に津波警報を津波注意報に切り替え、23時45分に津波注意報を解除した。津波観測値(暫定値)は以下のとおり。

表6-1 津波観測値(2026年4月20日、暫定値)

都道府県	観測点名	所属	第一波			最大波			高さ[cm]
			到達時刻			発現時刻			
			日	時	分	日	時	分	
北海道	根室市花咲	気象庁	20	--	--	20	21	31	8
	浜中町霧多布港	国土交通省港湾局	20	--	--	20	18	59	15
	十勝港	国土交通省港湾局	20	17	--	20	19	22	20
	えりも町庶野*1	気象庁	20	17	40	20	18	09	0.3m
	浦河	国土交通省港湾局	20	17	42	20	18	31	39
	苫小牧東港	国土交通省港湾局	20	18	04	20	20	46	19
	白老港	国土交通省港湾局	20	--	--	20	22	24	22
	渡島森港	国土交通省港湾局	20	18	17	20	20	26	12
浦河沖 50kmA*3	防災科学技術研究所	20	17	15	20	17	20	0.1m	
青森	むつ市関根浜	気象庁	20	17	50	20	18	11	19
	むつ小川原港	国土交通省港湾局	20	17	35	20	18	36	19
	八戸港	国土交通省港湾局	20	17	39	20	18	40	27
	青森東方沖 50kmB*3	防災科学技術研究所	20	17	06	20	17	12	0.1m
岩手	久慈港	国土交通省港湾局	20	17	27	20	17	51	79
	宮古	気象庁	20	17	16	20	17	22	34
	釜石	海上保安庁	20	17	18	20	18	40	19
	大船渡	気象庁	20	17	23	20	20	06	22
	岩手宮古沖*2	国土交通省港湾局	20	17	04	20	17	09	0.1m
	岩手沖 60kmA*3	防災科学技術研究所	20	16	--	20	17	02	0.1m
宮城	石巻市鮎川	気象庁	20	17	38	20	19	34	23
	仙台港	国土交通省港湾局	20	18	17	20	18	45	25
	宮城金華山沖*2	国土交通省港湾局	20	--	--	20	17	33	0.1m
	気仙沼広田湾沖*2	国土交通省港湾局	20	--	--	20	17	20	0.1m
	宮城牡鹿沖*3	防災科学技術研究所	20	17	34	20	17	40	0.1m
	宮城沖 50kmB*3	防災科学技術研究所	20	17	--	20	17	15	0.1m
福島	相馬*1	気象庁	20	18	18	20	21	11	0.2m
	いわき市小名浜	気象庁	20	--	--	20	20	22	13
	福島沖 50kmA*3	防災科学技術研究所	20	17	32	20	17	37	0.1m

- は値が決定できないことを示す。

観測値は、所属機関の観測波形データをもとに気象庁が検出した値。精査により変更される場合がある。

\*1 は巨大津波計により観測されたことを示す。(観測単位は0.1m)

\*2 はGNSS波浪計により観測されたことを示す。(観測単位は0.1m) 沿岸では津波は更に高くなる。

\*3 は海底津波計により観測された水圧を海面昇降に換算し、検潮所の観測値と同様の方法で読み取った値を示す。(観測単位は0.1m) 沿岸では津波は更に高くなる。

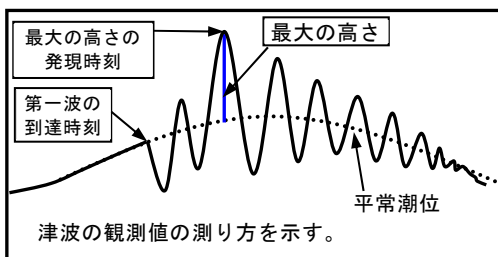


図 6 - 1 津波の測り方の模式

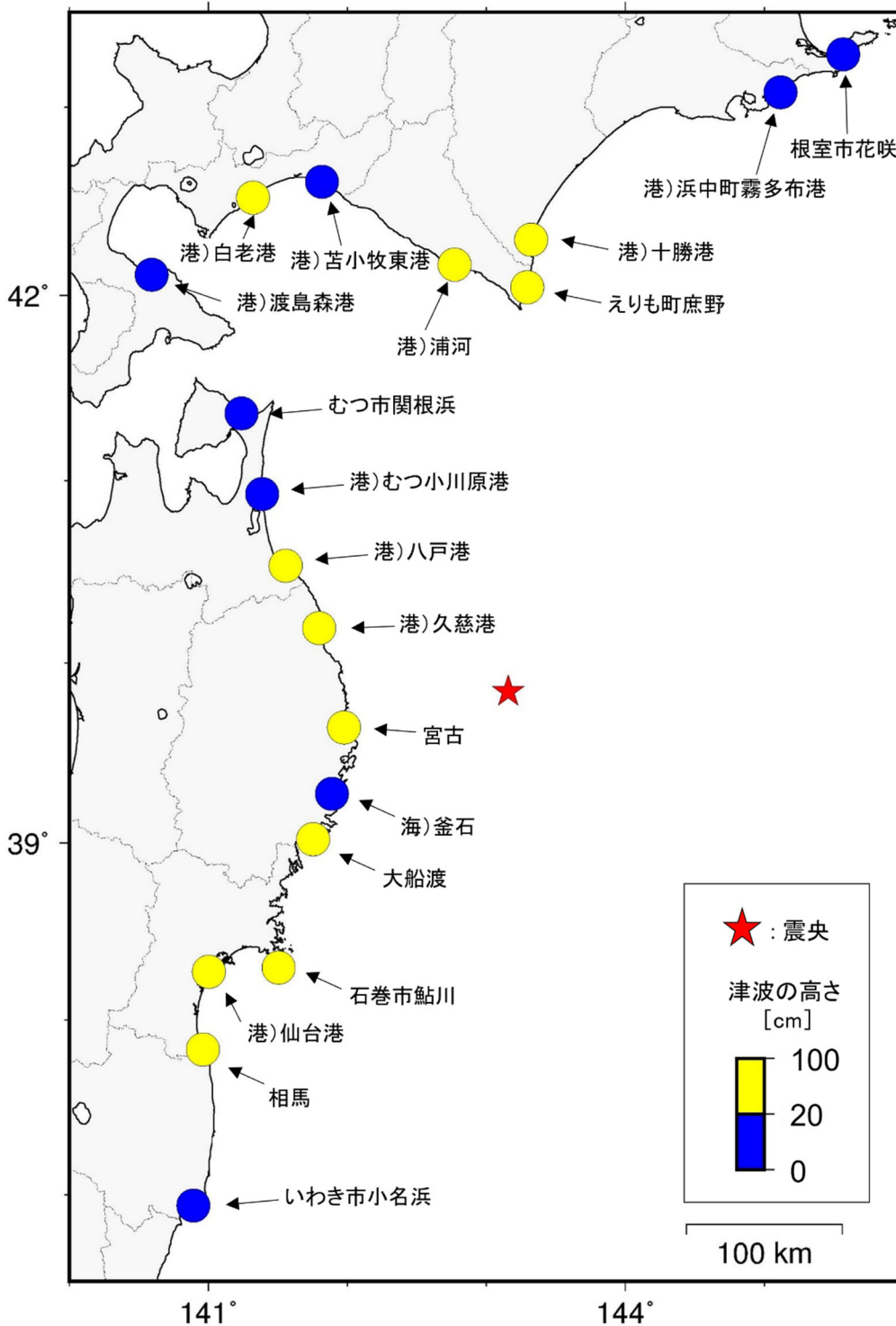


図 6 - 2 (1) 沿岸で津波を観測した地点  
港)は国土交通省港湾局、海)は海上保安庁の所属であることを示す。

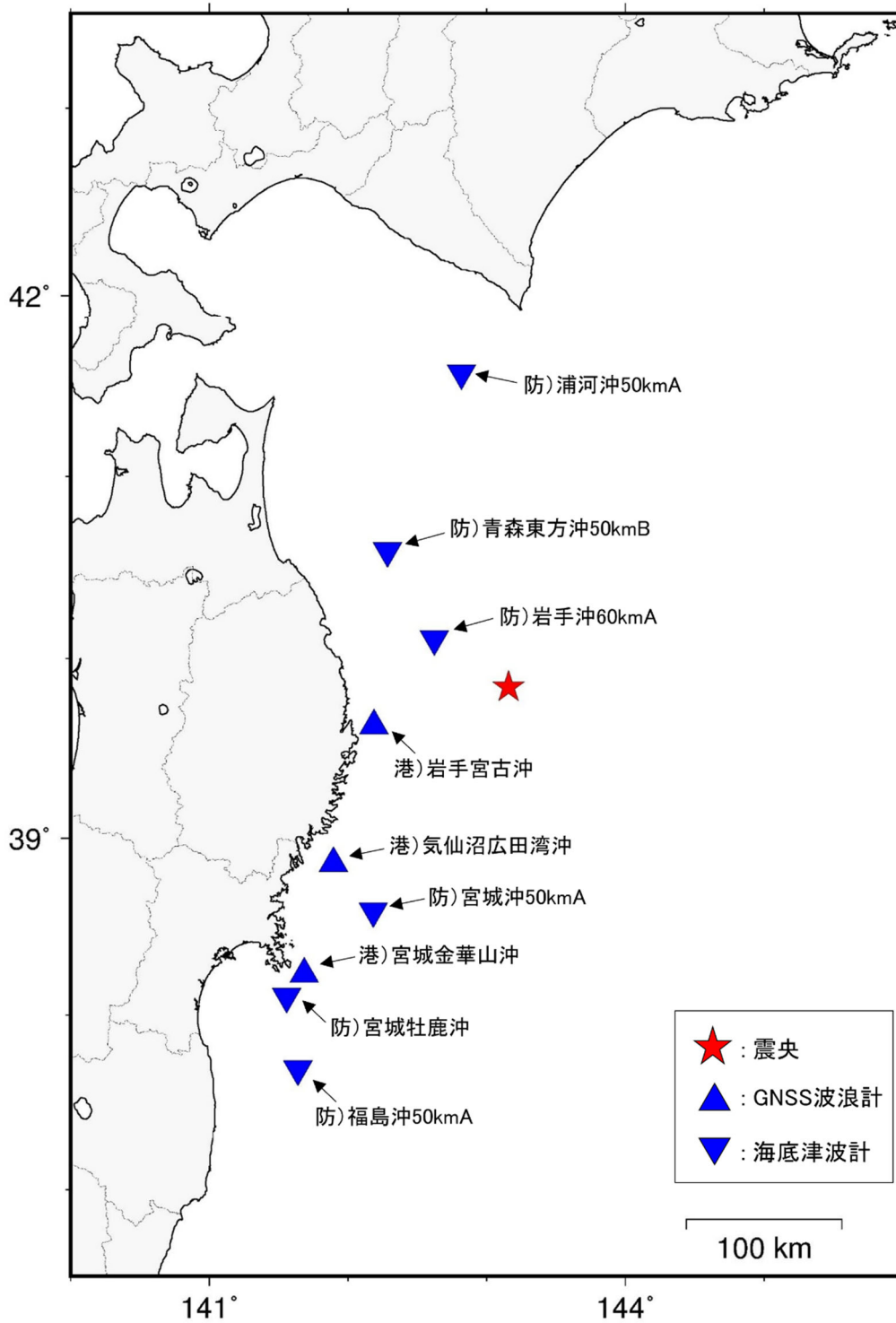


図6-2(2) 沖合で津波を観測した地点  
 港)は国土交通省港湾局、防)は防災科学技術研究所の所属であることを示す。  
 また、三角形はGNSS波浪計、逆三角形は海底津波計であることを示す。

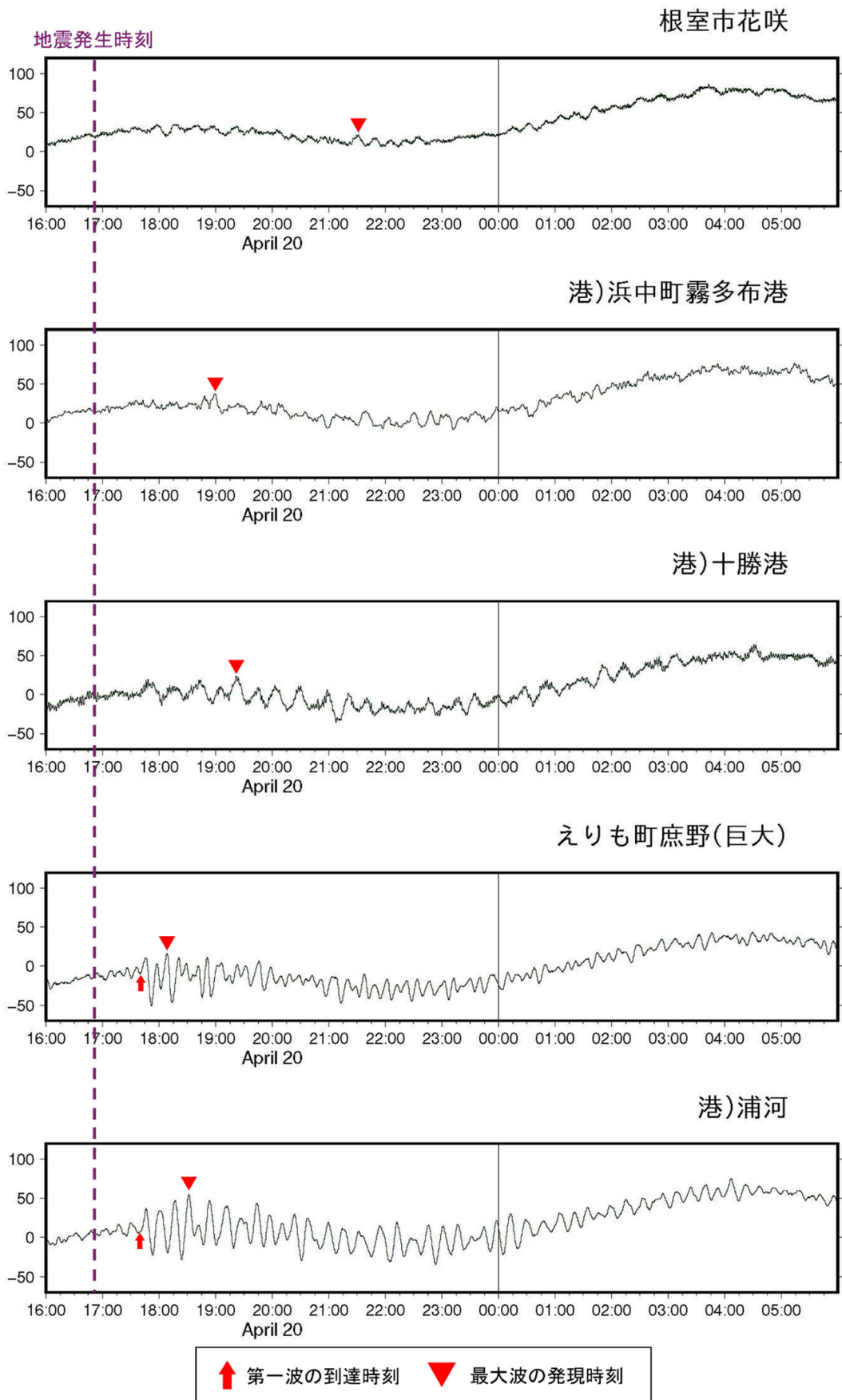


図6-3 (1) 沿岸観測点の津波波形(2026年4月20日16時から21日06時まで)(続く)  
 縦軸の単位はcm。港)は国土交通省港湾局の所属であることを表す。

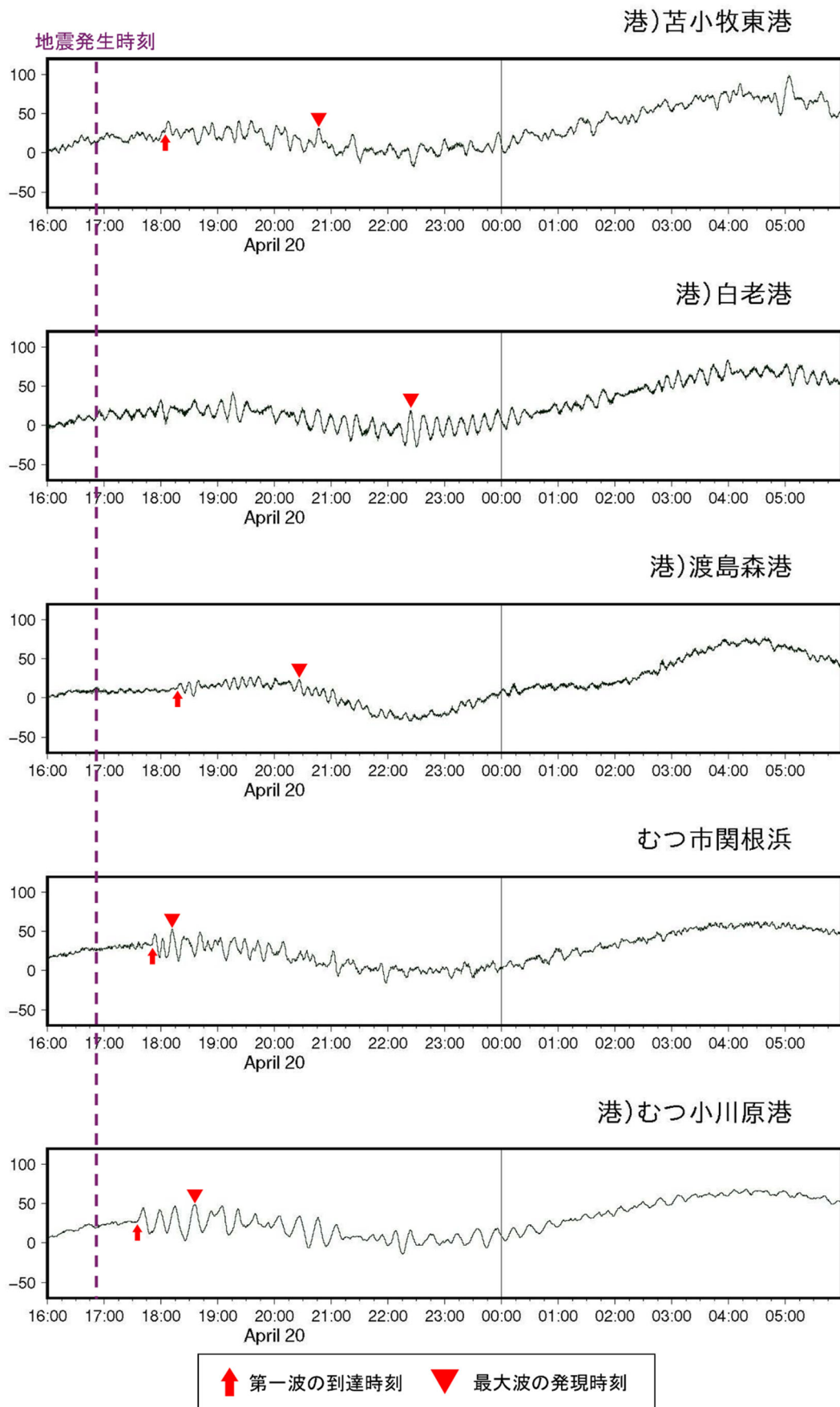


図 6 - 3 ( 1 ) 沿岸観測点の津波波形 ( 2026 年 4 月 20 日 16 時から 21 日 06 時まで ) ( 続く )  
 縦軸の単位は cm。港)は国土交通省港湾局の所属であることを表す。

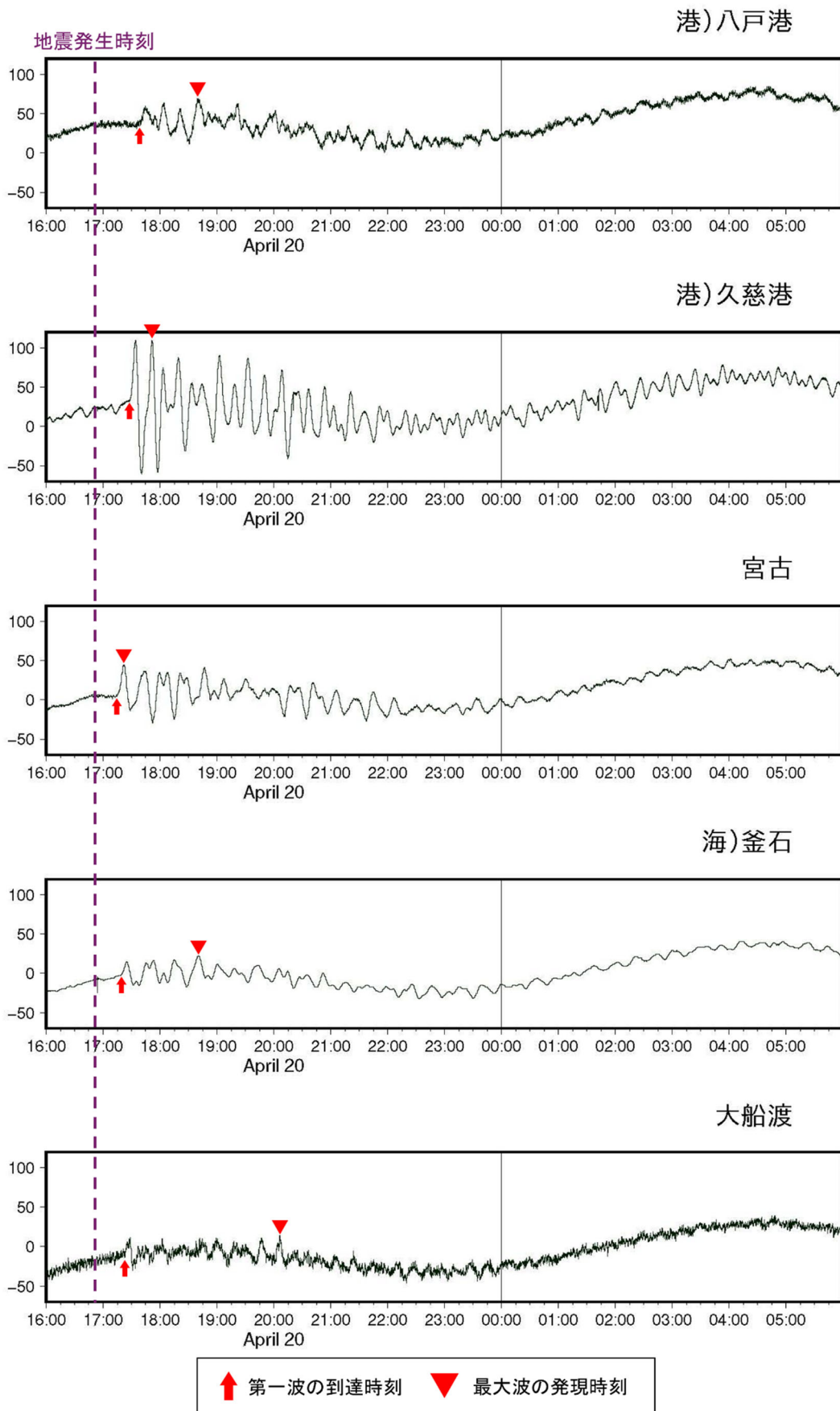


図6-3 (1) 沿岸観測点の津波波形(2026年4月20日16時から21日06時まで)(続く)  
 縦軸の単位はcm。港)は国土交通省港湾局、海)は海上保安庁の所属であることを表す。

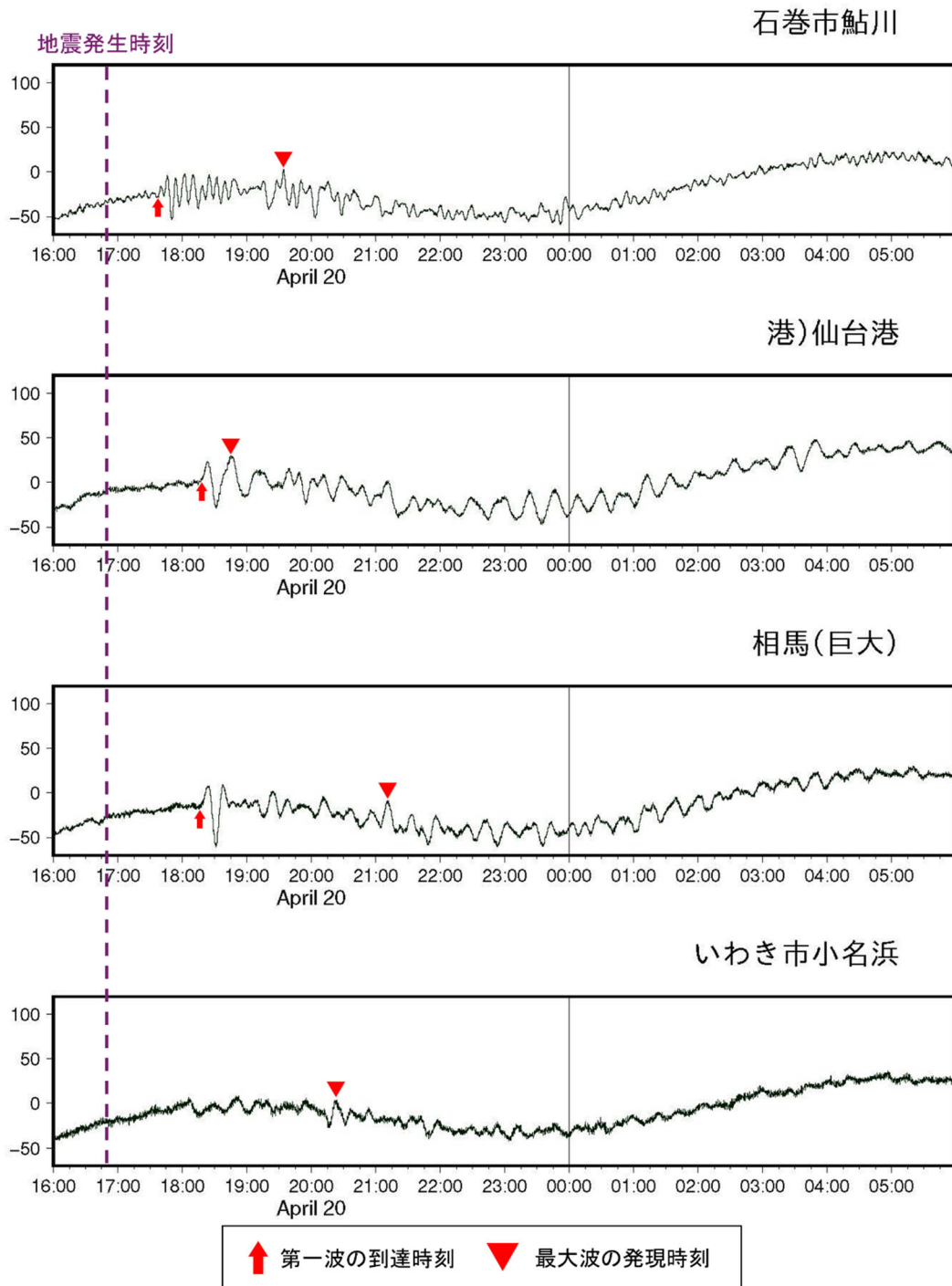


図6-3 (1) 沿岸観測点の津波波形(2026年4月20日16時から21日06時まで)  
縦軸の単位はcm。港)は国土交通省港湾局の所属であることを表す。

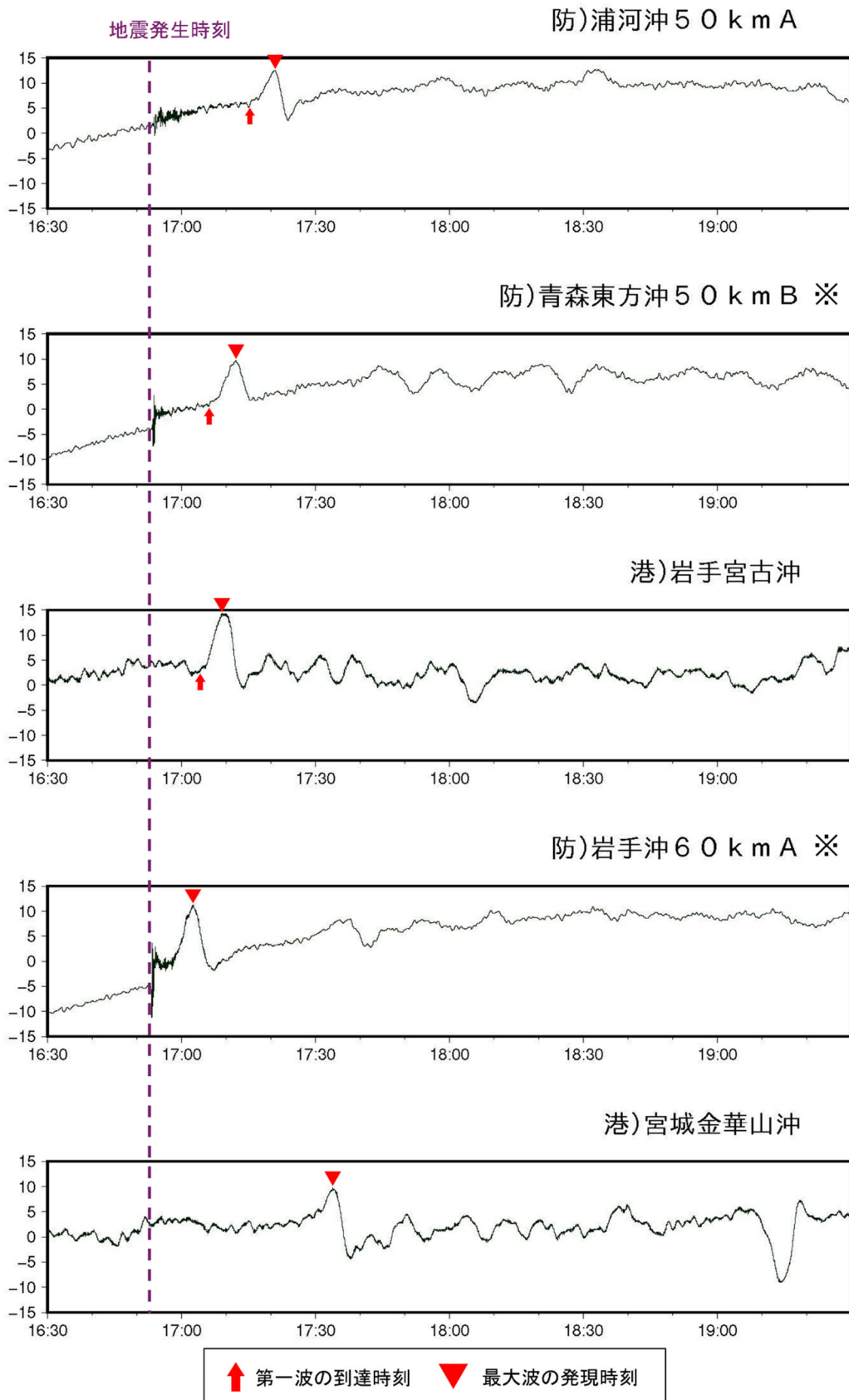


図6-3(2) 沖合観測点の津波波形(2026年4月20日16時30分から19時30分まで)(続く)  
 防)は防災科学技術研究所、港)は国土交通省港湾局の所属であることを表す。縦軸の高さはcmで、国土交通省港湾局の波形はGNSS波浪計で観測された値、防災科学技術研究所の波形は海底津波計で観測された水圧を海面昇降に換算した値である。初動と最大波の発現時刻は、検潮所の観測値と同様の方法で読み取った時刻を示す。※を付した観測点の波形には地震発生時に自然現象ではない階段状の変化が見られる。

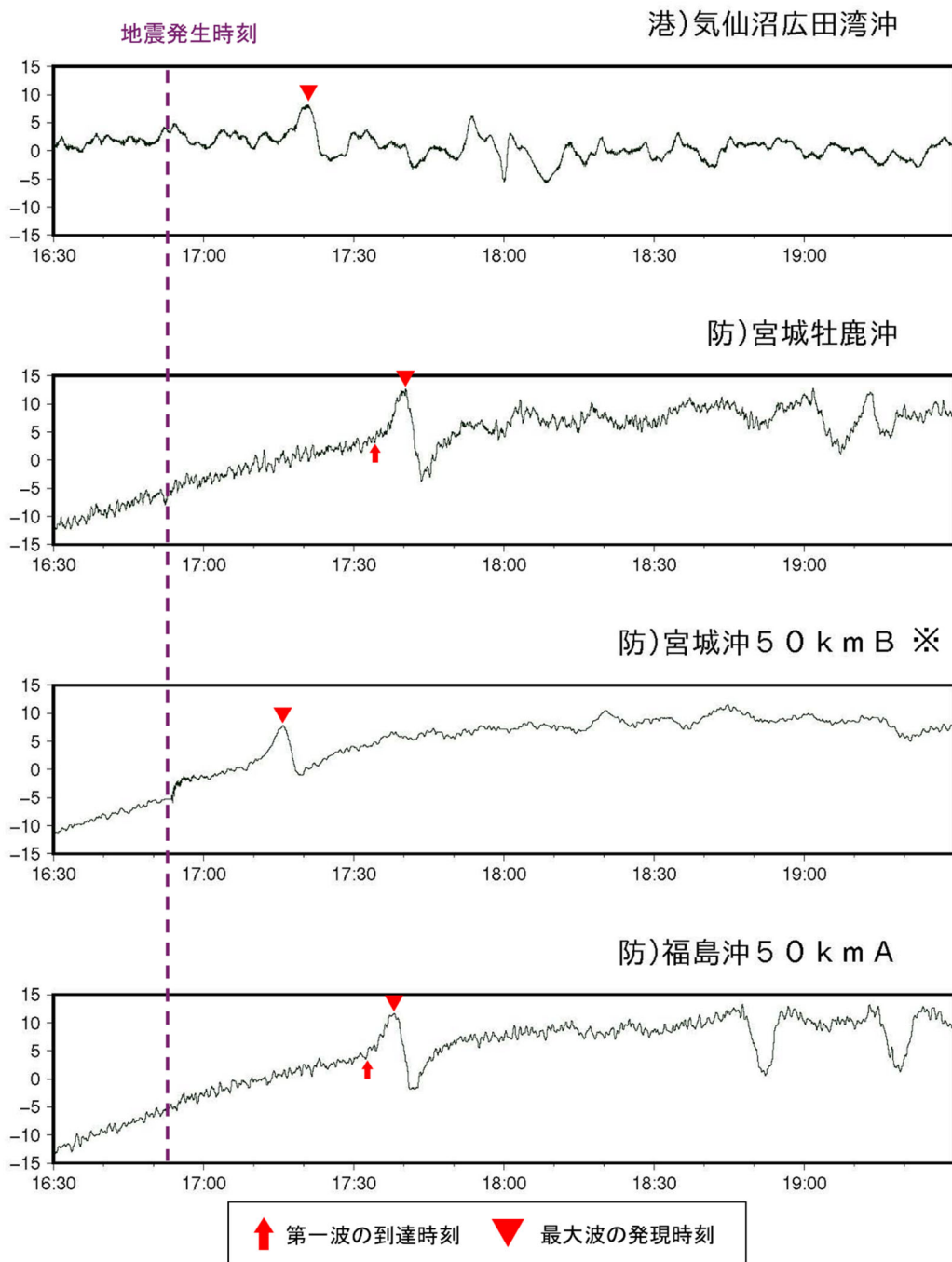


図 6-3 (2) 沖合観測点の津波波形 (2026 年 4 月 20 日 16 時 30 分から 19 時 30 分まで)  
 防) は防災科学技術研究所、港) は国土交通省港湾局の所属であることを表す。縦軸の高さは cm で、国土交通省港湾局の波形は GNSS 波浪計で観測された値、防災科学技術研究所の波形は海底津波計で観測された水圧を海面昇降に換算した値である。初動と最大波の発現時刻は、検潮所の観測値と同様の方法で読み取った時刻を示す。※を付した観測点の波形には地震発生時に自然現象ではない階段状の変化が見られる。

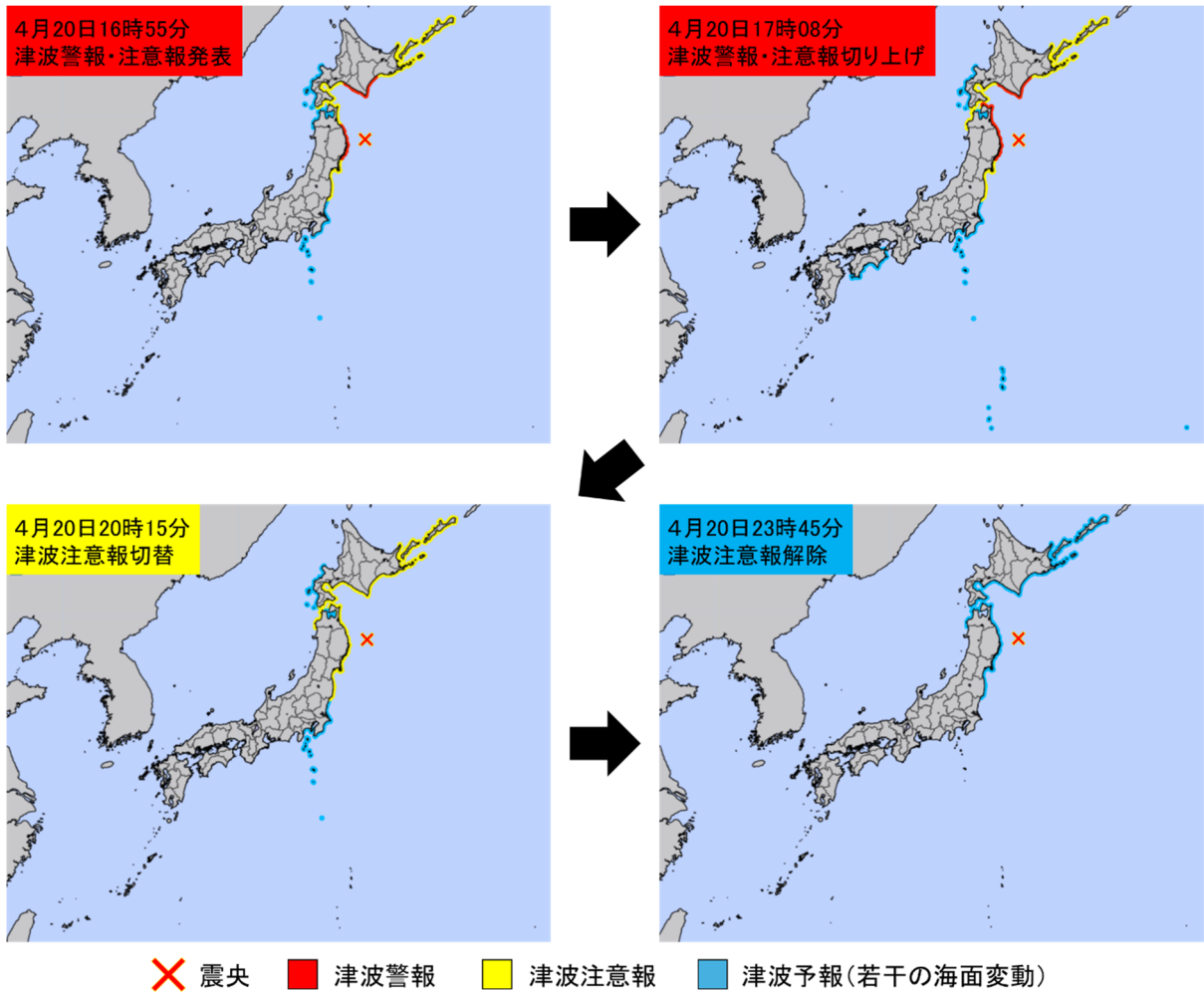


図6-4 発表した津波警報・注意報